

中学校技術・家庭科に関する 第8回全国アンケート調査



令和3年11月12日

第60回全日本中学校技術・家庭科研究大会東京大会
全日本中学校技術・家庭科研究会 研究調査部

<調査時期>

令和3年2月15日～3月末



<調査内容>

- 回答者の基礎情報（経験、持ち時数等）
- 令和3年度の指導計画について
- 1人1台コンピュータの設備状況等について
(技術分野のみ)

<回答数> 全国 技術分野868名 家庭分野544名

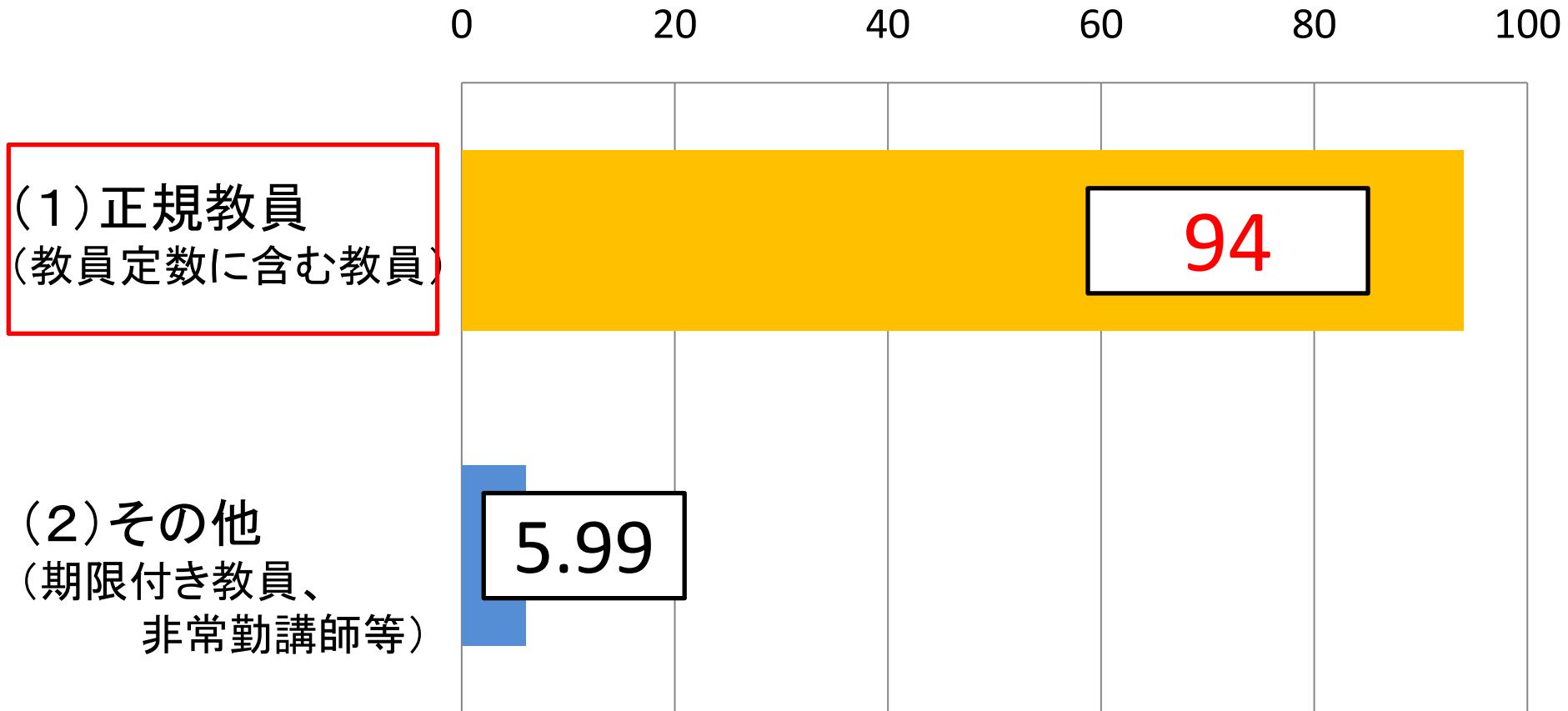
<協力> 公益財団法人

全国中学校産業教育教材振興協会

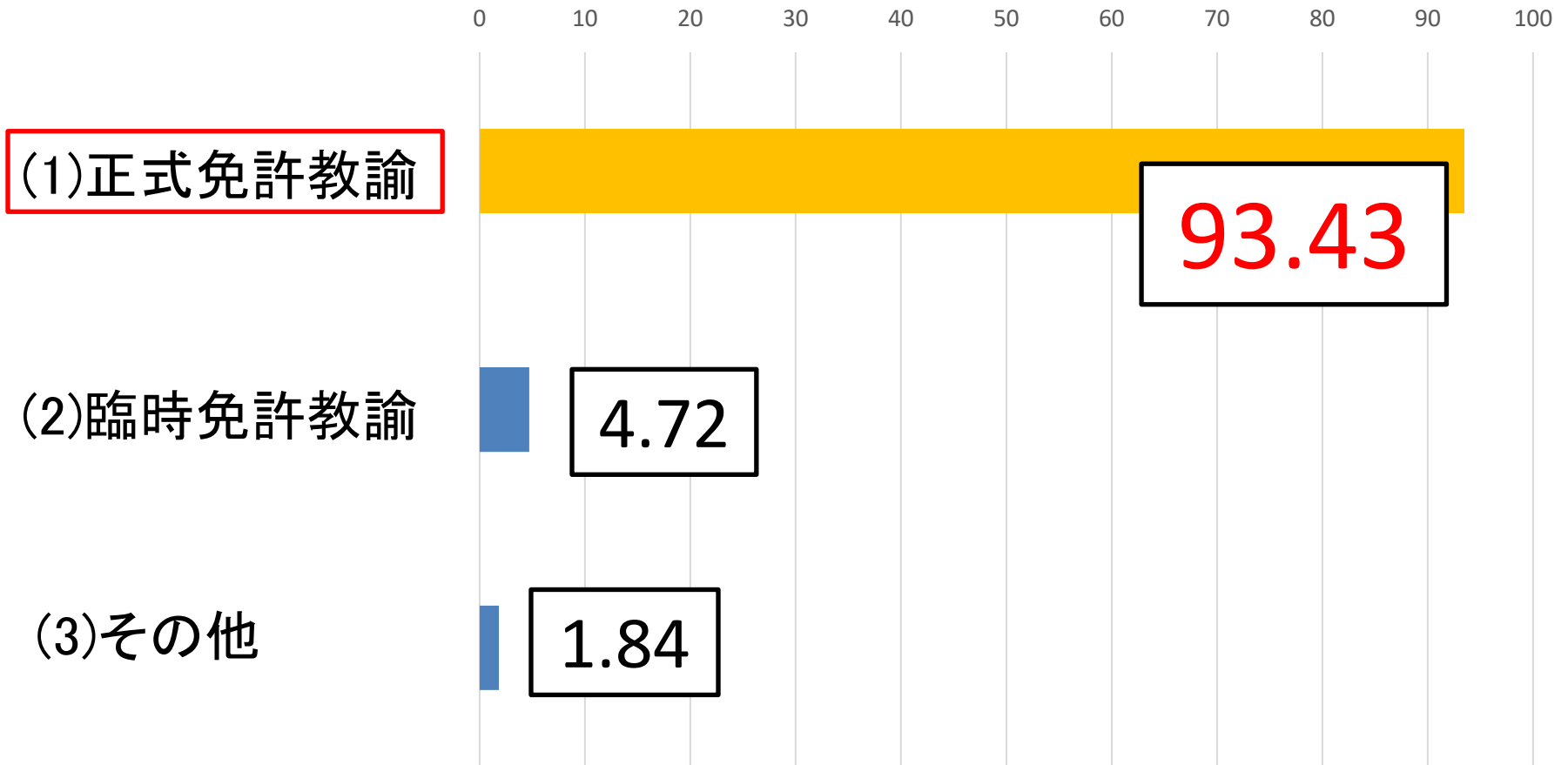
技術分野

アンケート回答数 868名

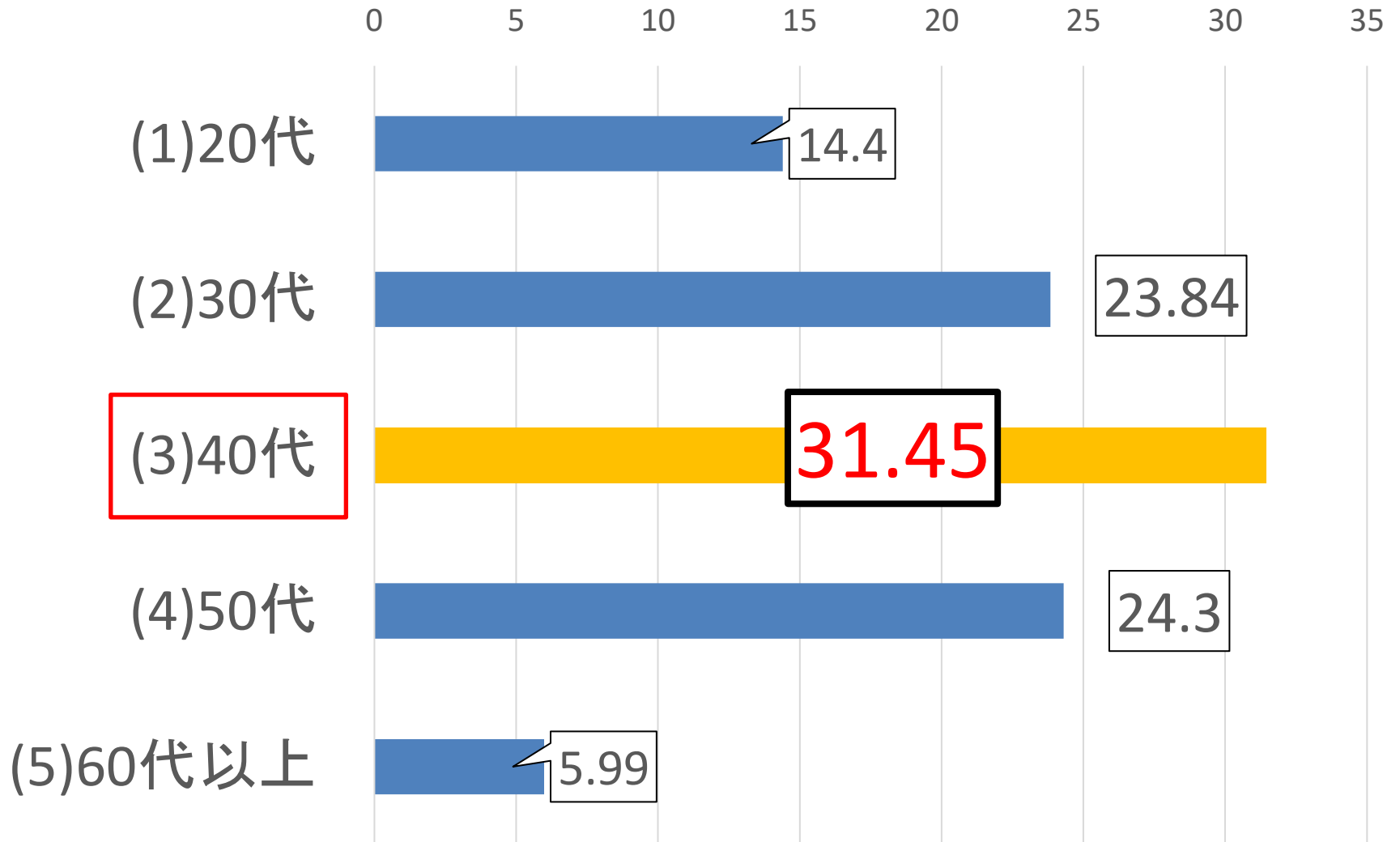
1 あなたの勤務形態は、次のどれにあたりますか。



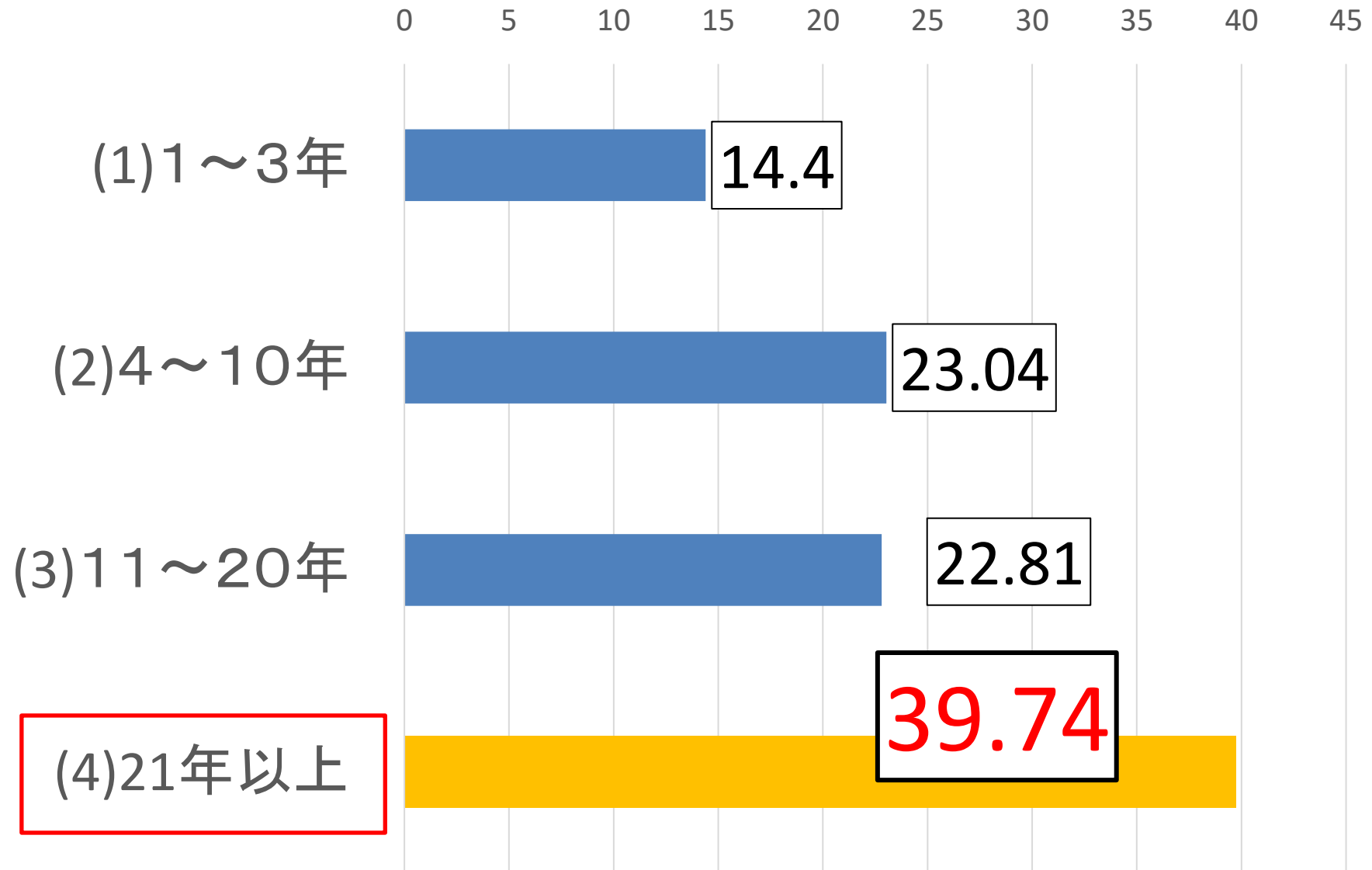
2 あなたの教員免許資格は、次のどれにあたりますか。



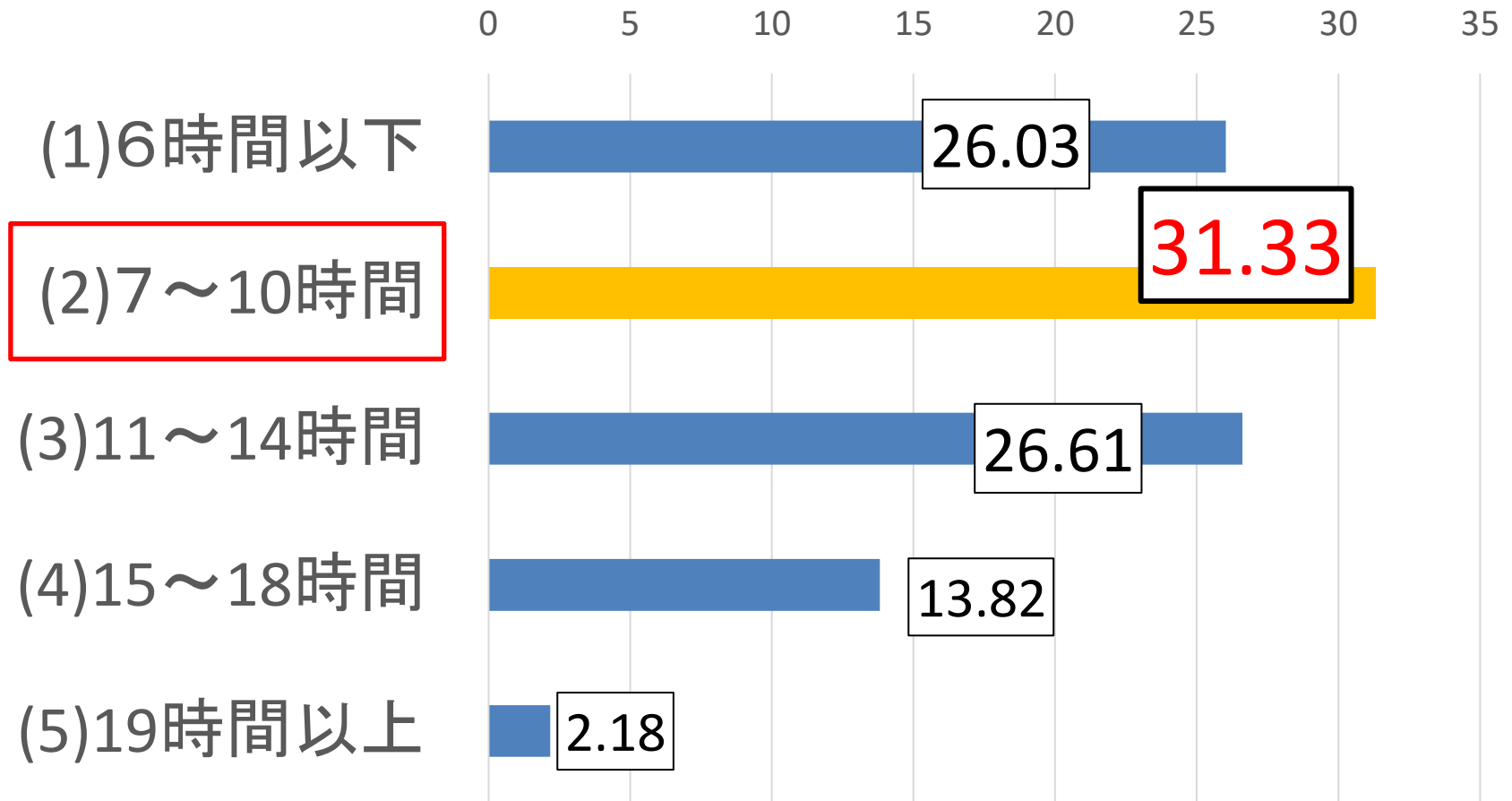
3 あなたの年齢は、次のどれにあたりますか。



4 あなたは技術分野を教えて何年目になりますか。



5 あなたが担当する週当たりの技術分野の授業時数は、次のどれですか。



6 あなたは技術分野以外に他の教科の授業を担当していますか。

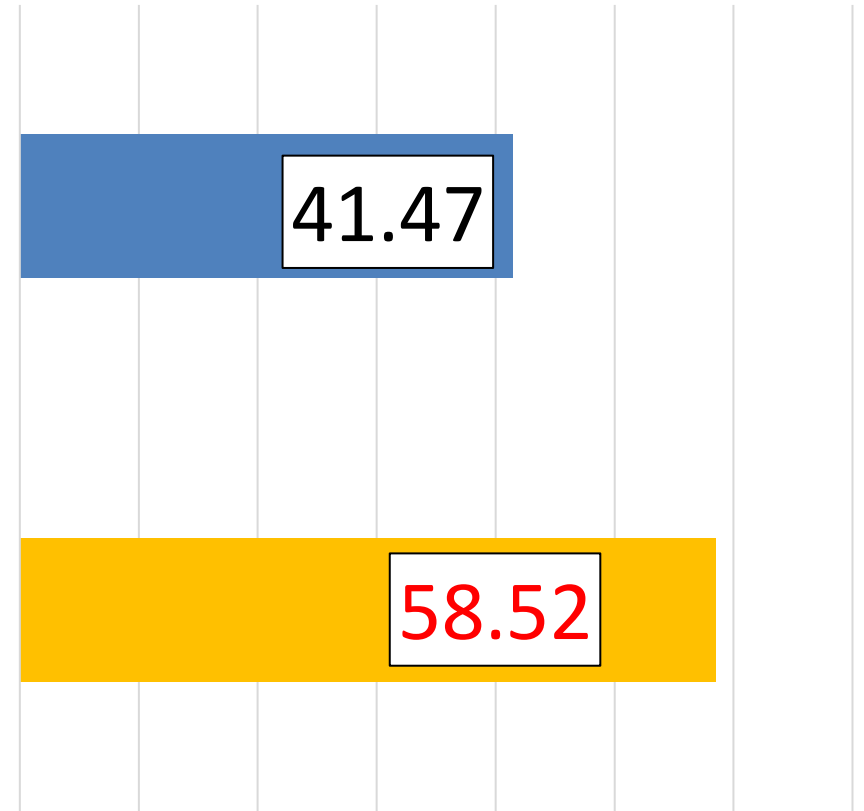
(1)他教科の授業を担当している

41.47

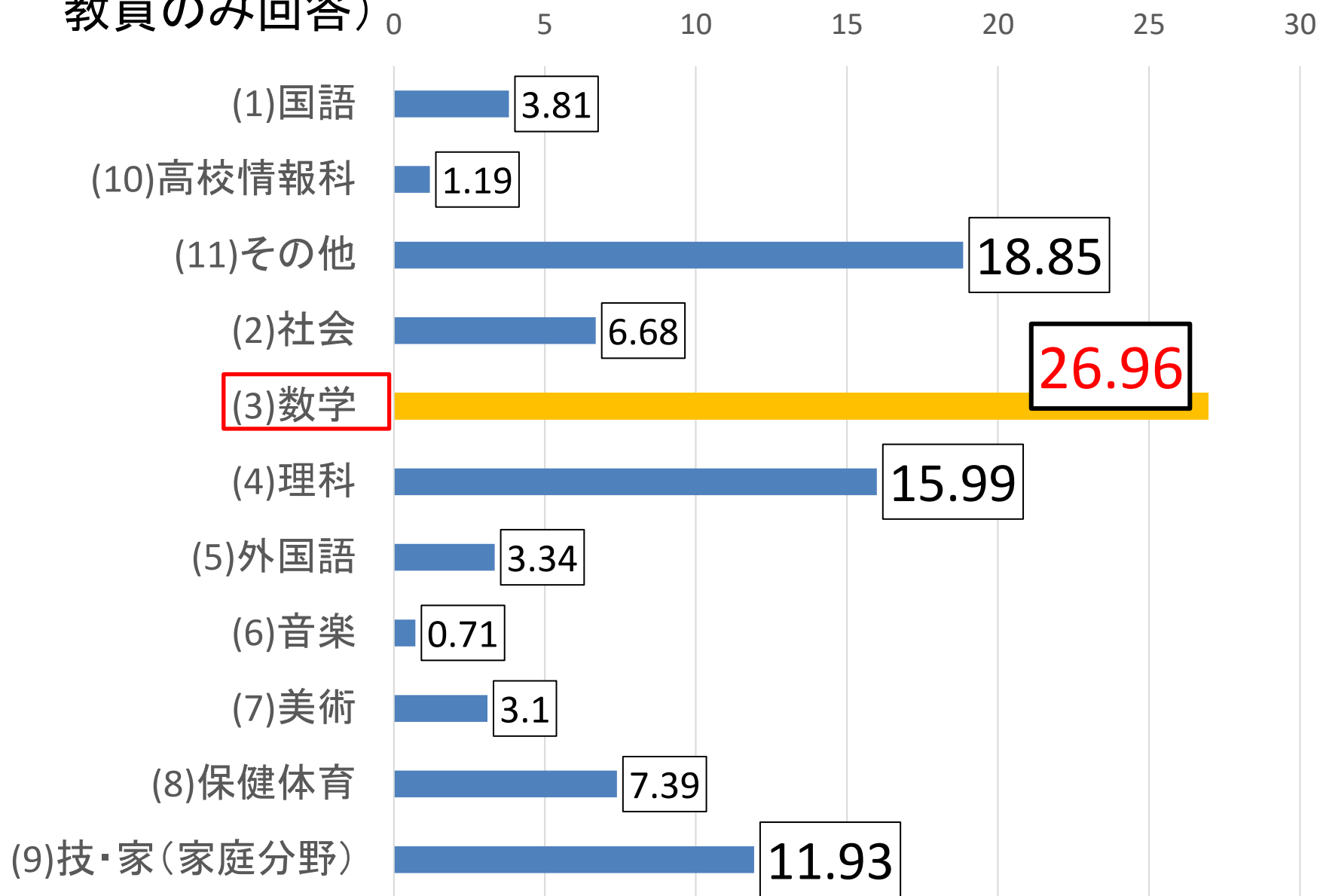
(2)他教科の授業を担当していない

58.52

0 10 20 30 40 50 60 70



7 他の担当教科は次のどれですか。(他教科を担当している教員のみ回答)



技術分野

令和3年度の指導計画について

○令和3年度の指導計画を作成する上で特に重視する点をご回答ください。(3つまで)

(1)三年間を見通した指導計画の作成

(2)技術の見方・考え方を働かせ主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善

(3)学習過程(1)(2)(3)を明確にした指導計画

(4)現代的な諸課題に関する学習

(5)他教科等との関連を図った教科横断的な学習

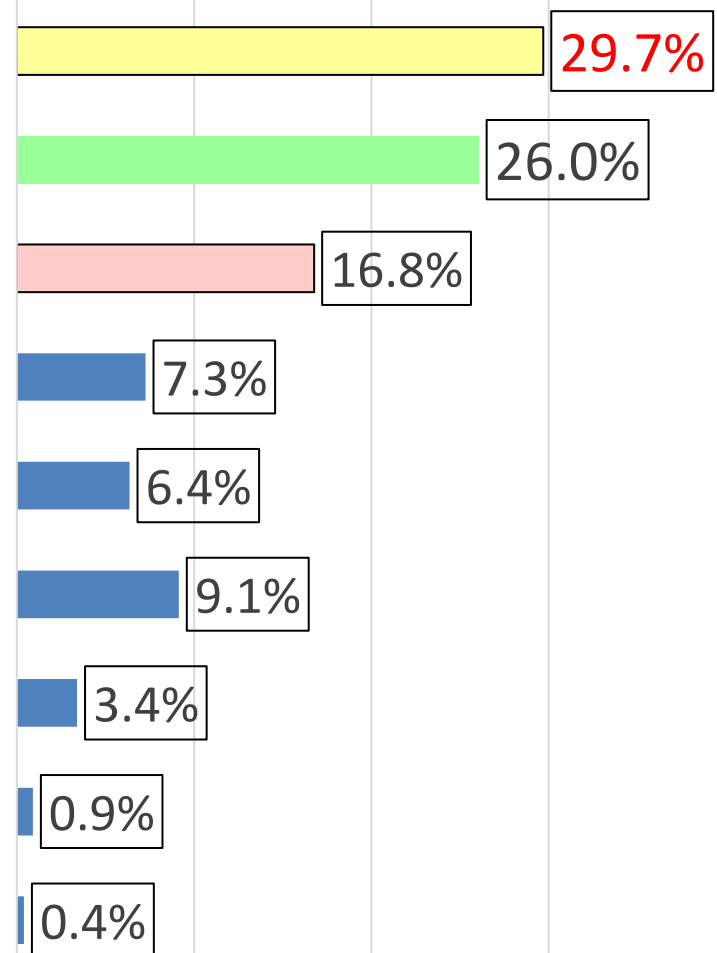
(6)生活や社会を意識した学習

(7)小学校や高等学校の学習内容との系統性を意識した学習

(8)地域の人材や施設設備等を利用した学習

(9)その他

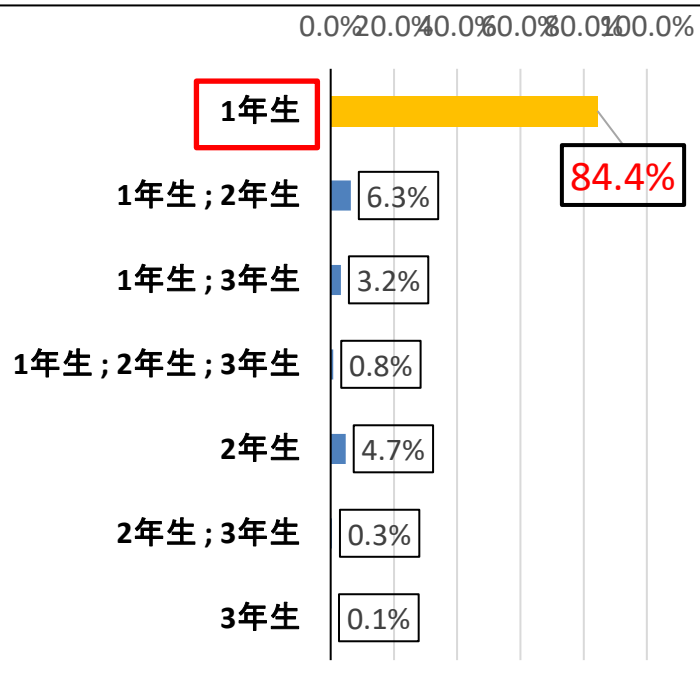
0.0% 10.0% 20.0% 30.0% 40.0%



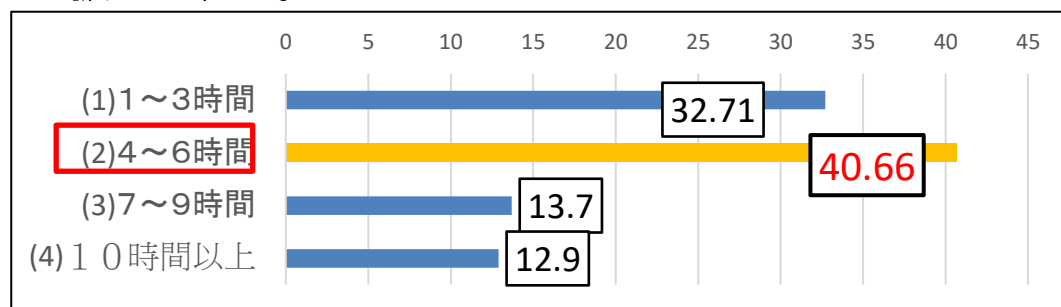
指導計画

A材料と加工
の技術

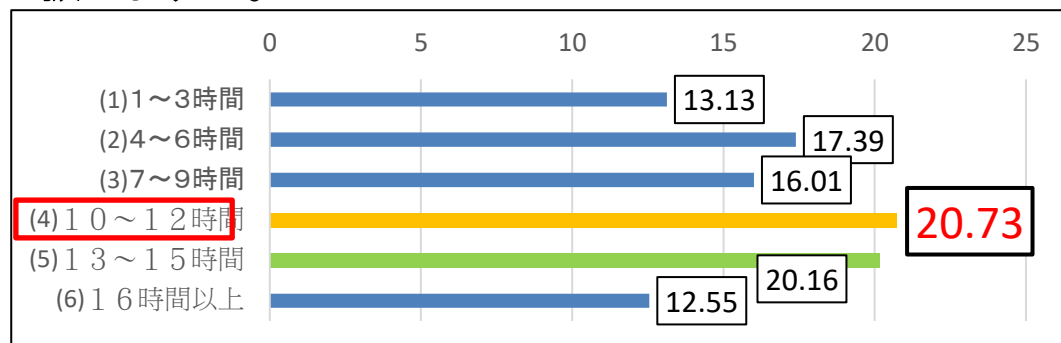
履修する学年をお答えください。



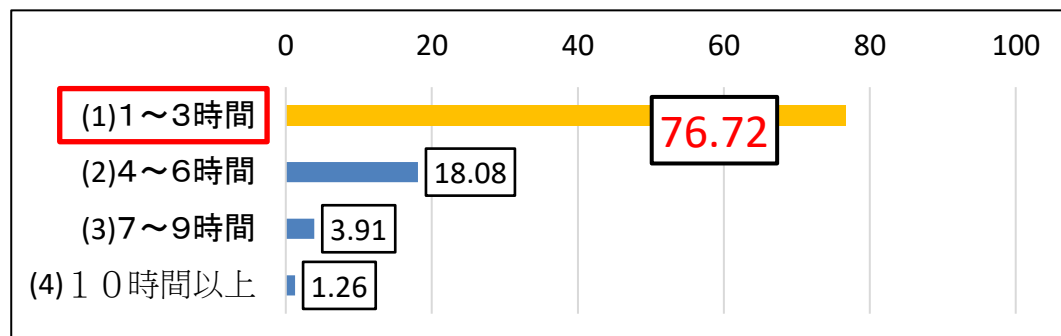
「(1)生活や社会を支える材料と加工の技術」は何時間で扱いますか。



「(2)材料と加工の技術による問題の解決」は何時間で扱いますか。



「(3)社会の発展と材料と加工の技術」は何時間で扱いますか。

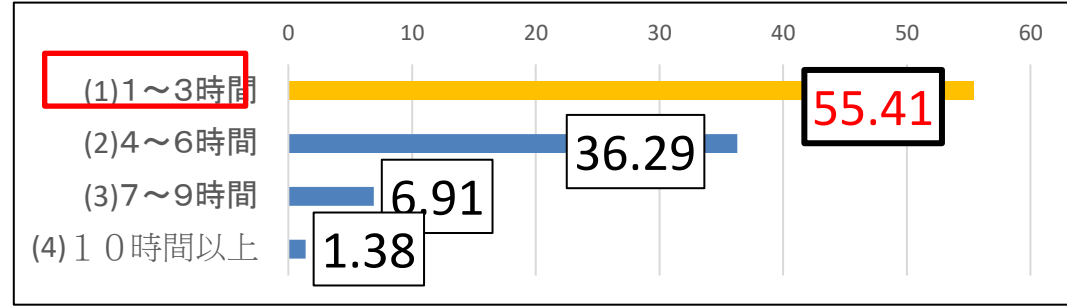


○「A 材料と加工の技術」で扱う問題の解決の内容をお答えください。

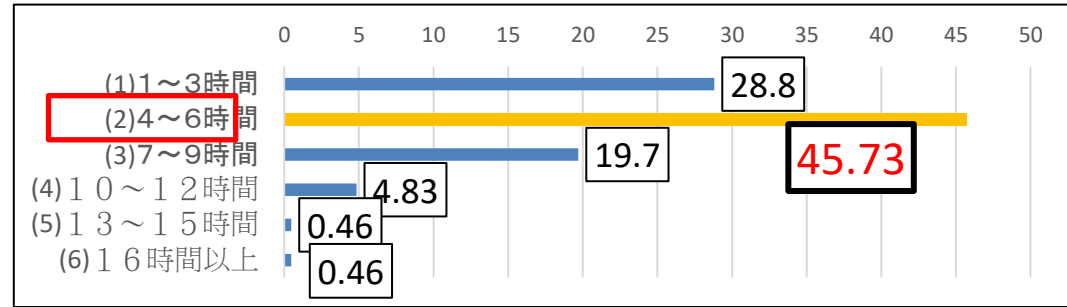
- ・身の回りを整理するものの製作
(机上の棚・本棚・小物入れ等)
- ・一人一台端末を収納するものの製作
- ・3Dプリンタを用いた製作
- ・教室の個人ロッカーの整理するものの製作
- ・内容Bで栽培するためのプランタ等の製作
- ・ブリッジコンテストなど

指導計画
B生物育成の
技術

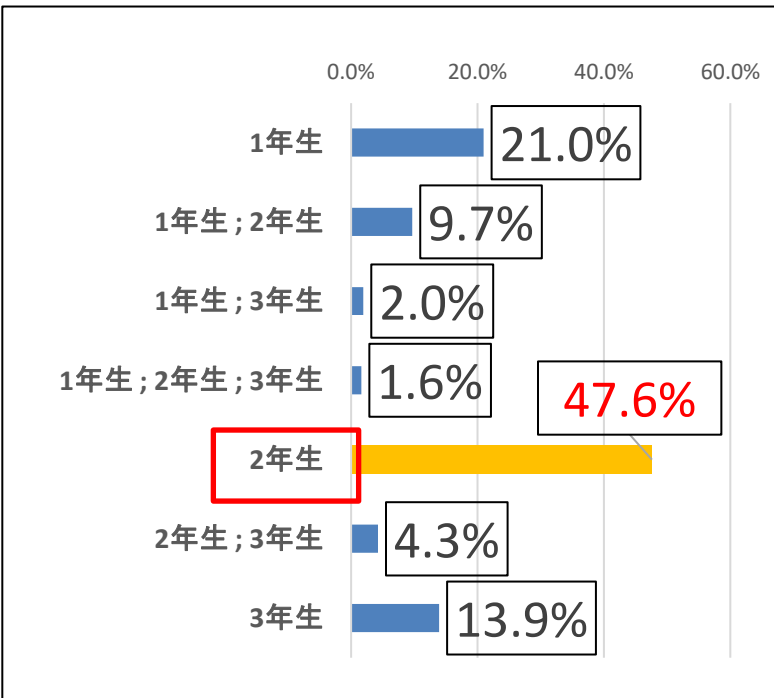
「(1)生活や社会を支える生物育成の技術」は何時間で扱いますか。



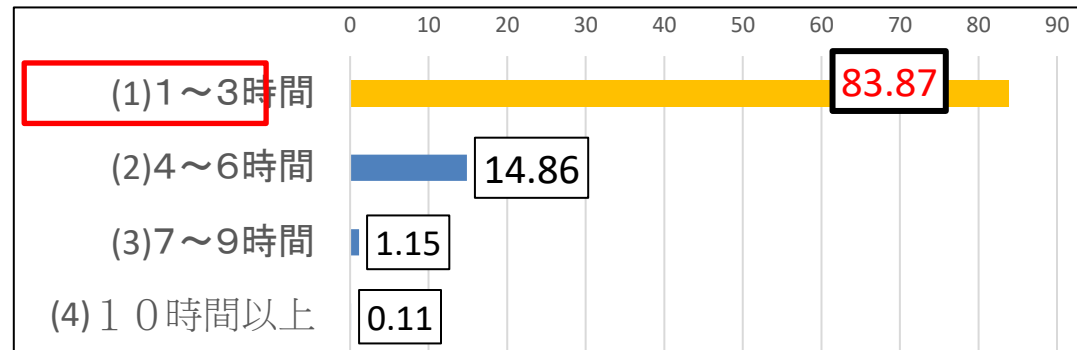
「(2)生物育成の技術による問題の解決」は何時間で扱いますか。



履修する学年をお答えください。



「(3)社会の発展と生物育成の技術」は何時間で扱いますか。



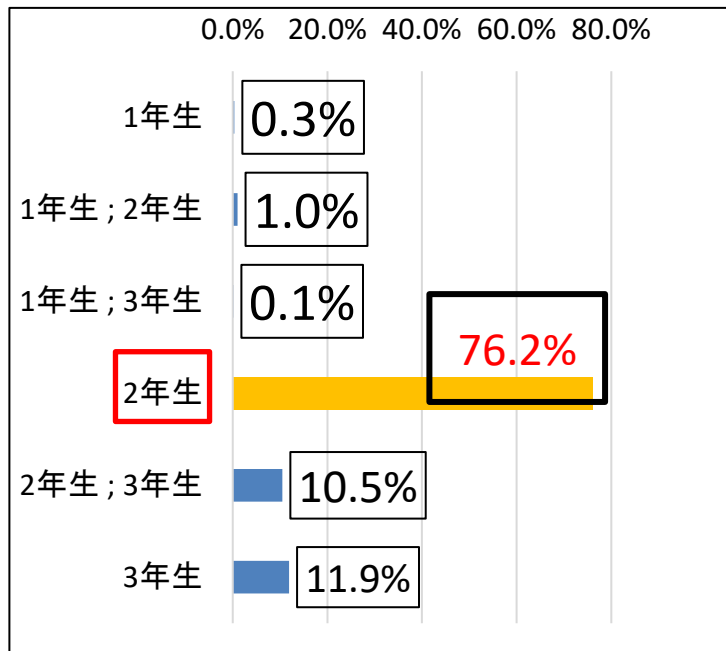
○「B生物育成の技術」で扱う問題の解決の内容をお答えください。

- ・限られた育成環境で収量や品質の向上
- ・使用目的にあった品質と収量の栽培
- ・商品価値の高いニーズにあった作物の栽培
- ・伝統野菜の栽培
- ・栽培での有効な土地利用
- ・天候に左右されない安定共有のための栽培
- ・使用目的のための収穫時期の変更
- ・植物工場の運用 など

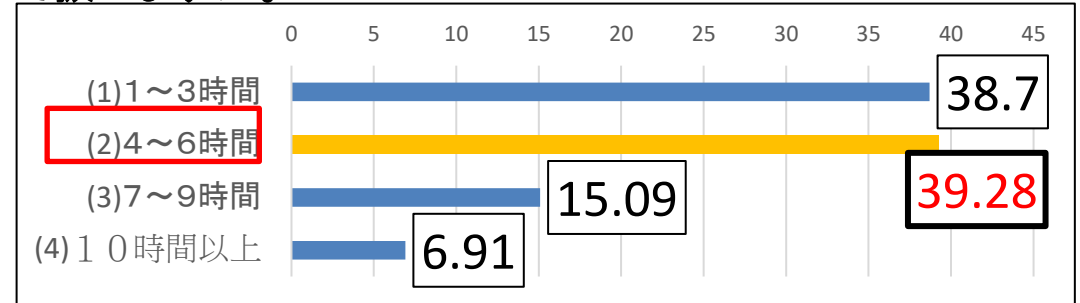
指導計画

Cエネルギー
変換の技術

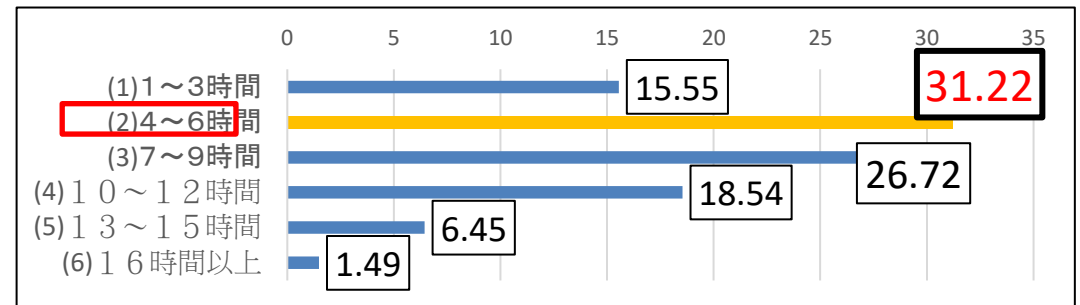
履修する学年をお答えください。



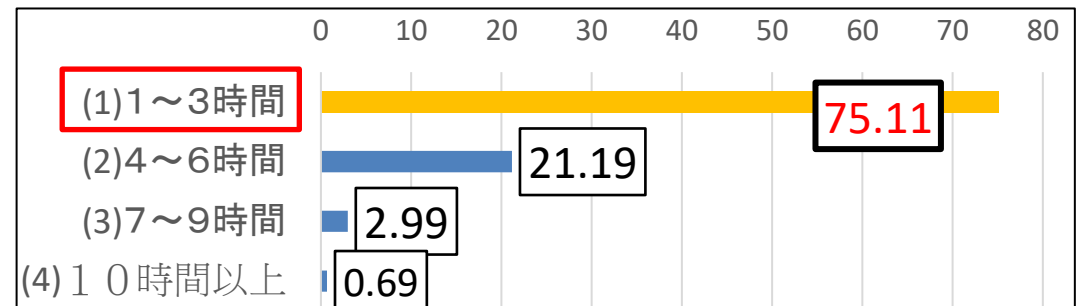
「(1)生活や社会を支えるエネルギー変換の技術」は何時間で扱いますか。



「(2)エネルギー変換の技術による問題の解決」は何時間で扱いますか。



「(3)社会の発展とエネルギー変換の技術」は何時間で扱いますか。



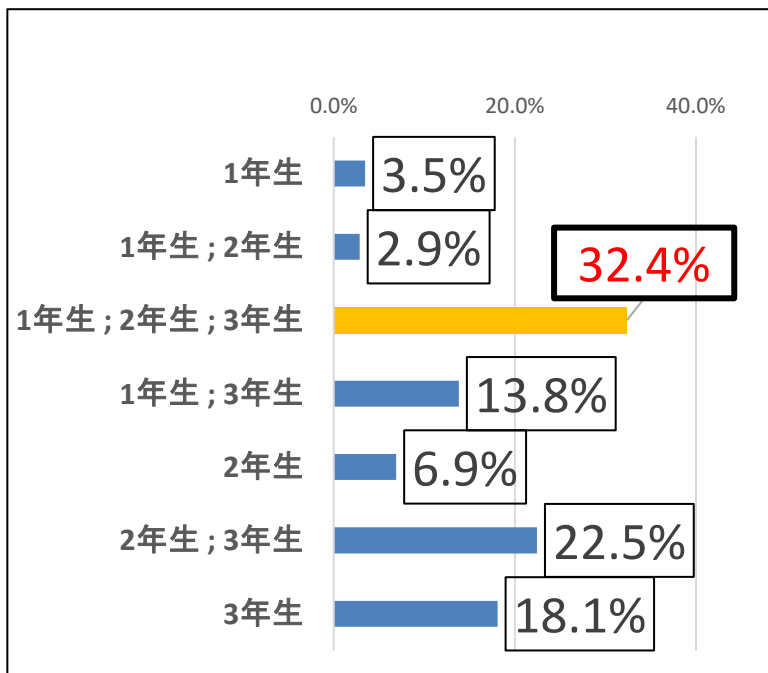
○「C エネルギー変換の技術」で扱う問題の解決の内容をお答えください。

- ・災害時の非常事態を考えた照明器具の製作
- ・使用目的の明るさを求めるLED照明の回路設計
(電流制限抵抗器の選択など)
- ・様々な発電方法について(再生可能・ダイナモ・ソーラーパネルなど)
- ・センサを用いた照明器具の回路設計
- ・ロボコン等の製作を通じた仕組みの最適化
- ・地域や災害時等で活躍できる、自動車などのモビリティ・ロボットモデルの設計
- ・風力発電用・蒸気タービン用の、風車や羽根車製作と発電コンテストなど

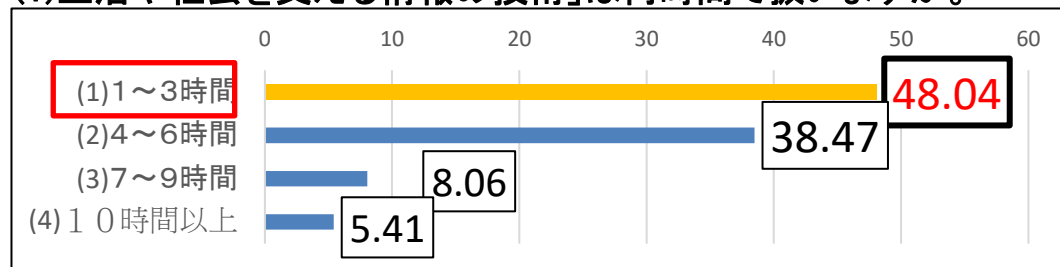
指導計画

D情報の技術

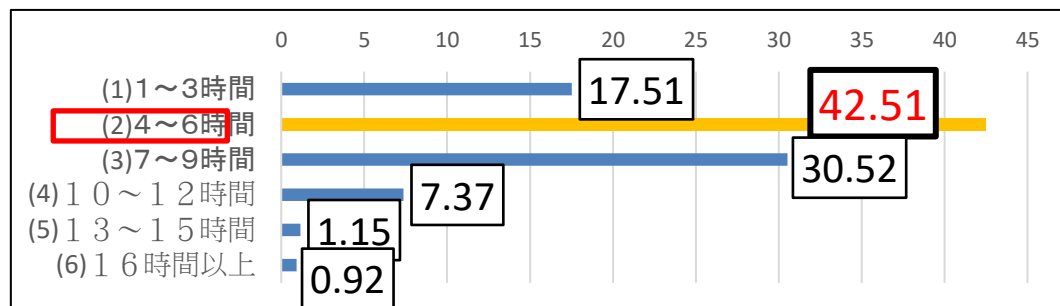
履修する学年をお答えください。



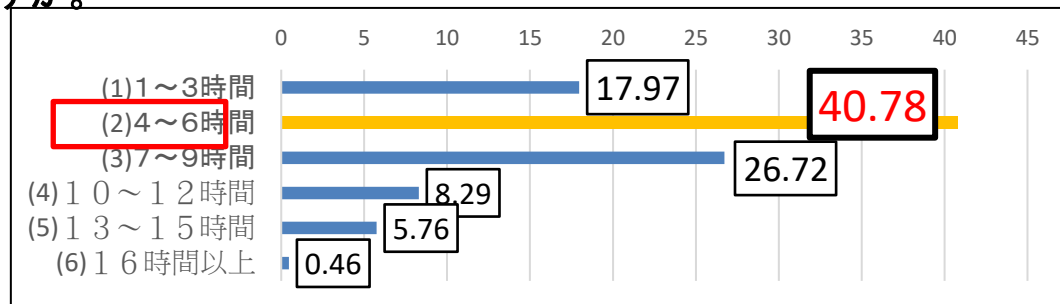
「(1)生活や社会を支える情報の技術」は何時間で扱いますか。



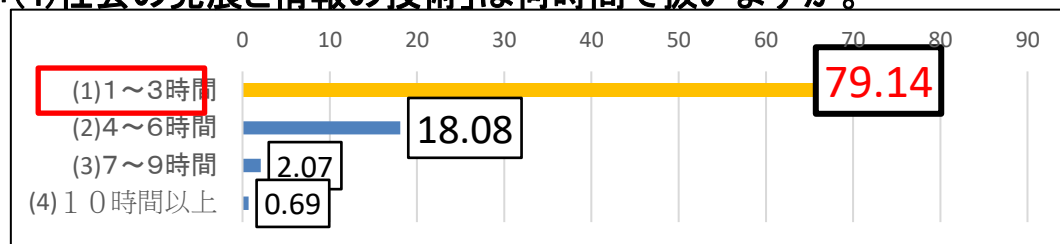
「(2)ネットワークを利用した双方向性のあるコンテンツのプログラミングによる問題の解決」は何時間で扱いますか。



「(3)計測・制御のプログラミングによる問題の解決」は何時間で扱いますか。



「(4)社会の発展と情報の技術」は何時間で扱いますか。



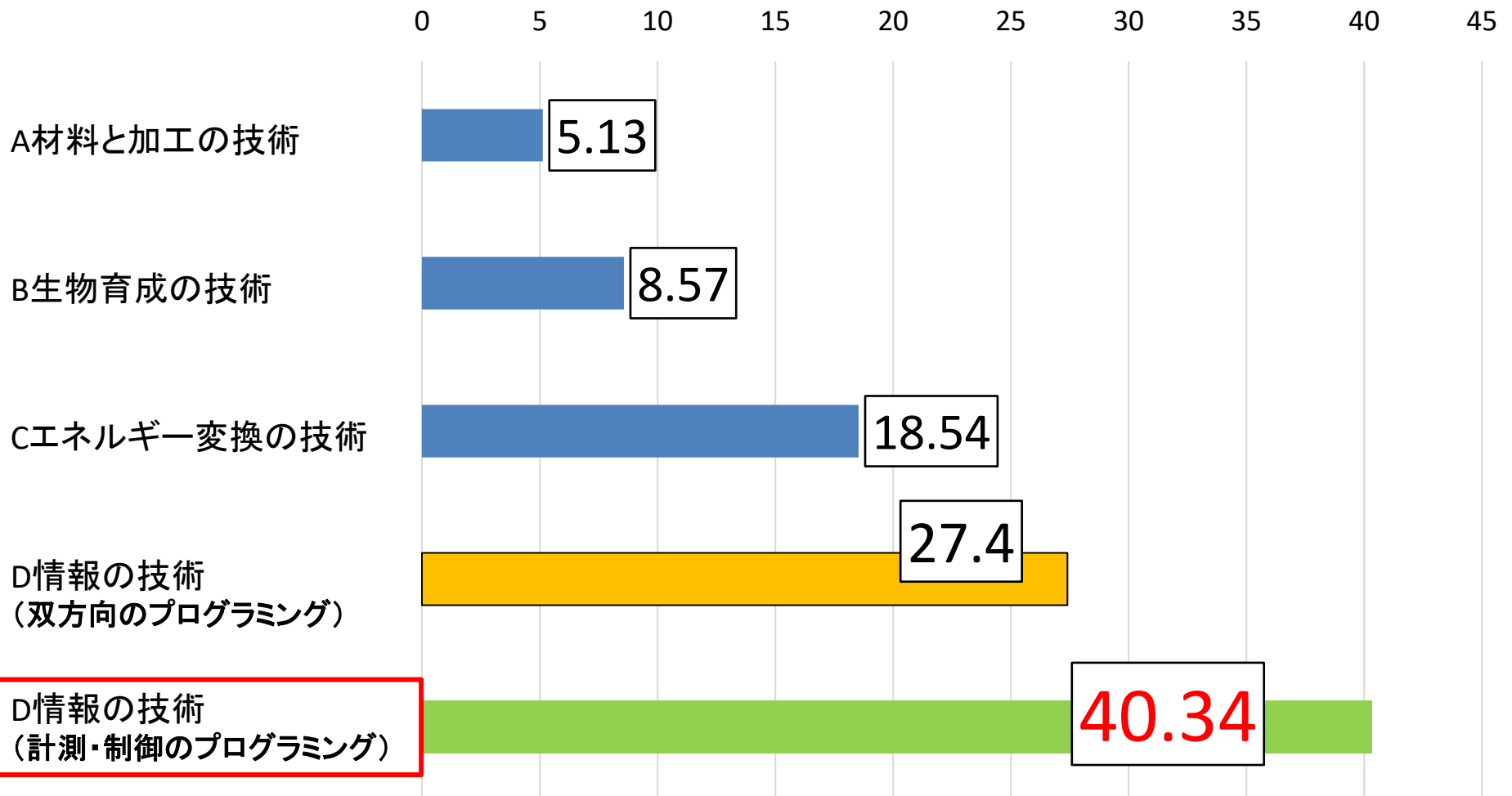
○「D情報の技術(2)ネットワークを利用した双方向性のあるコンテンツのプログラミング」で扱う問題の解決の内容をお答えください。

- JavaScript等を利用して、双方向性のあるWEBページの制作(学校・地域の安全マップや防災マップの制作など)
- SNSやショッピングサイトのプログラミング
- じゃんけん・おみくじ等のゲーム制作
- SNS通信プログラムの制作
- 掲示板、チャットプログラムの制作など

○「D情報の技術(3)計測・制御のプログラミング」で扱う問題の解決の内容をお答えください。

- ・センサによる照明やモータの制御
- ・植物工場の照明・給水・温度設定等の管理
- ・信号機の制御プログラムの制作
- ・お掃除ロボットのプログラム制作
- ・ドローンの制御プログラム
- ・ライトレースカーのプログラミング
- ・自動運転の制御プログラムの制作

○第3学年で取り上げる統合的な問題はどの内容を扱いますか。(2つ以上選択)



○全面実施に対して、先生自身がお感じになっている問題・課題があれば自由にお書きください。

コンピュータの環境

学習評価

題材（特に双方向のプログラム）

免許外で教科を教える不安

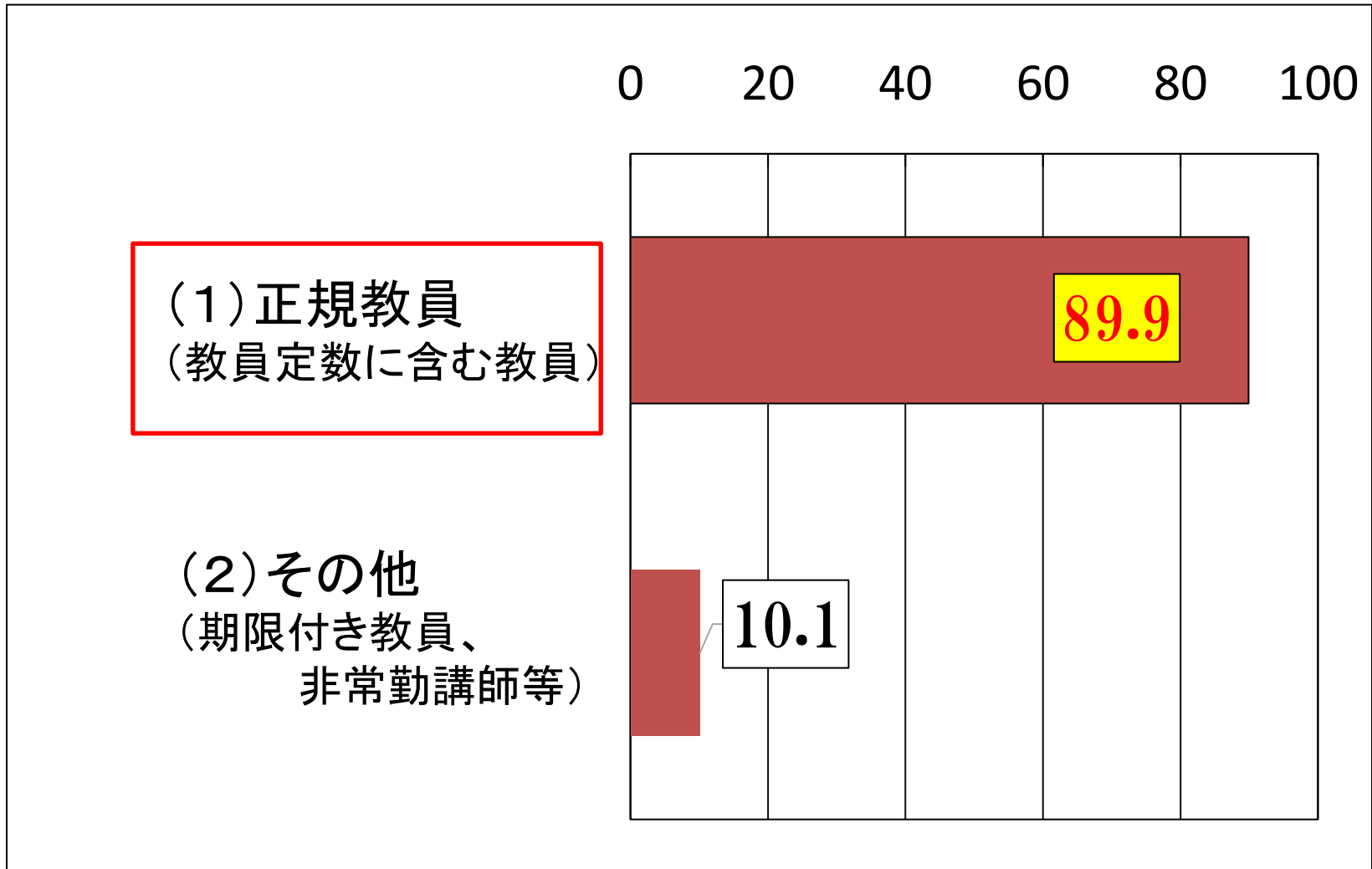
授業時数が足りない

コロナ禍で十分な準備ができない

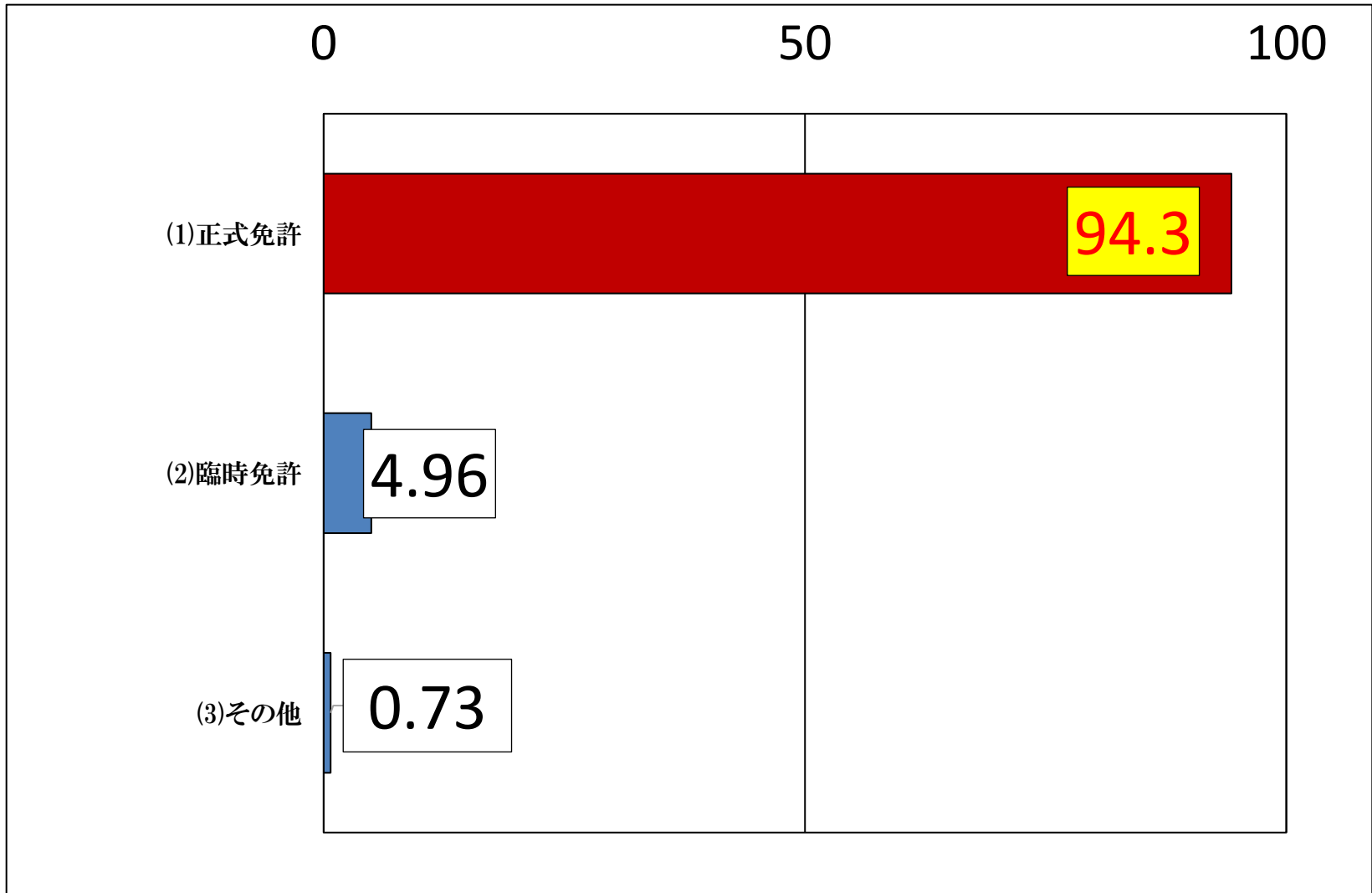
家庭分野

アンケート回答数 544名

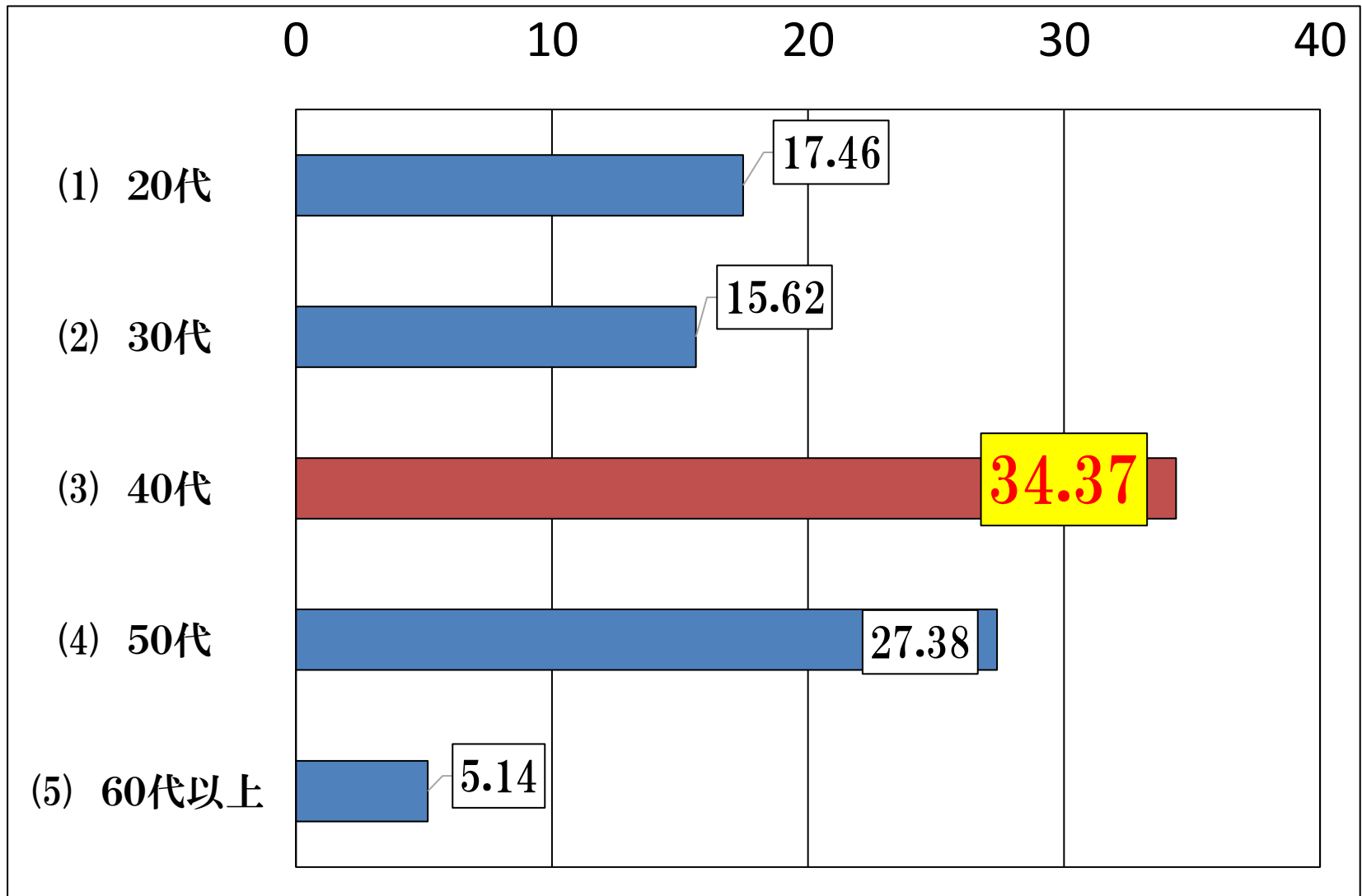
1 あなたの勤務形態は、次のどれにあたりますか。



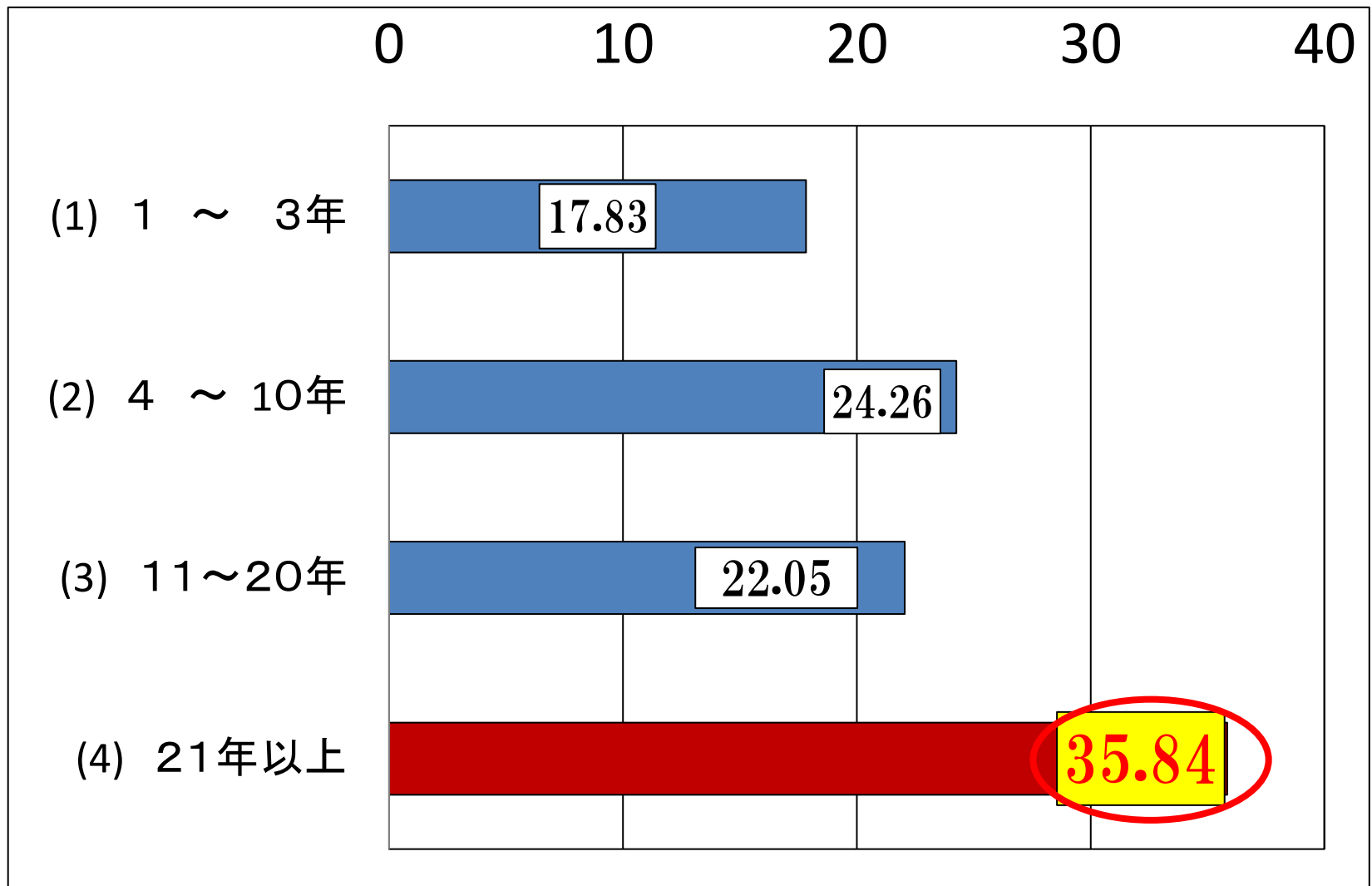
2 あなたの教員免許資格は、次のどれにあたりますか。



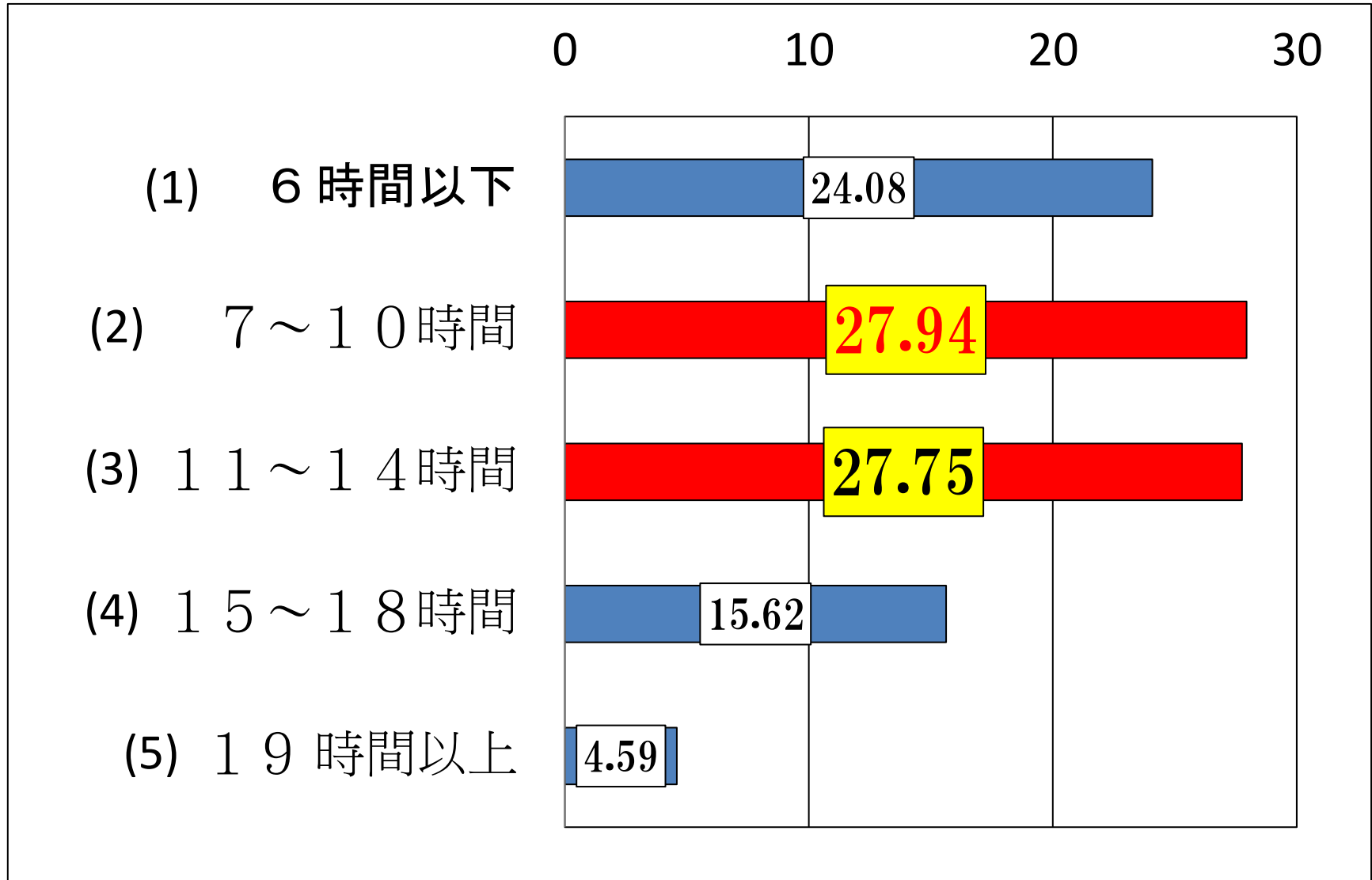
3 あなたの年齢は、次のどれにあたりますか。



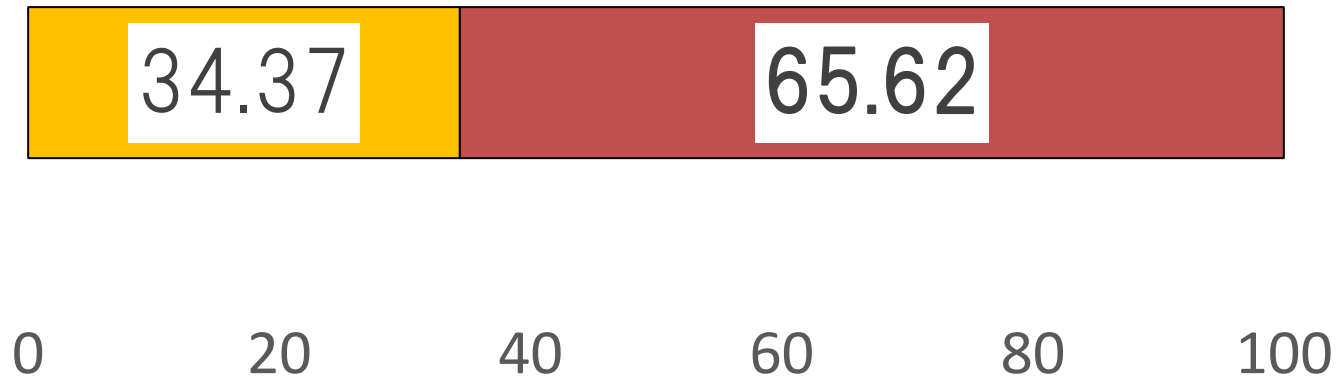
4 あなたは家庭分野を教えて何年目になりますか。



5 あなたが担当する週当たりの家庭分野の授業時数は、次のどれですか。

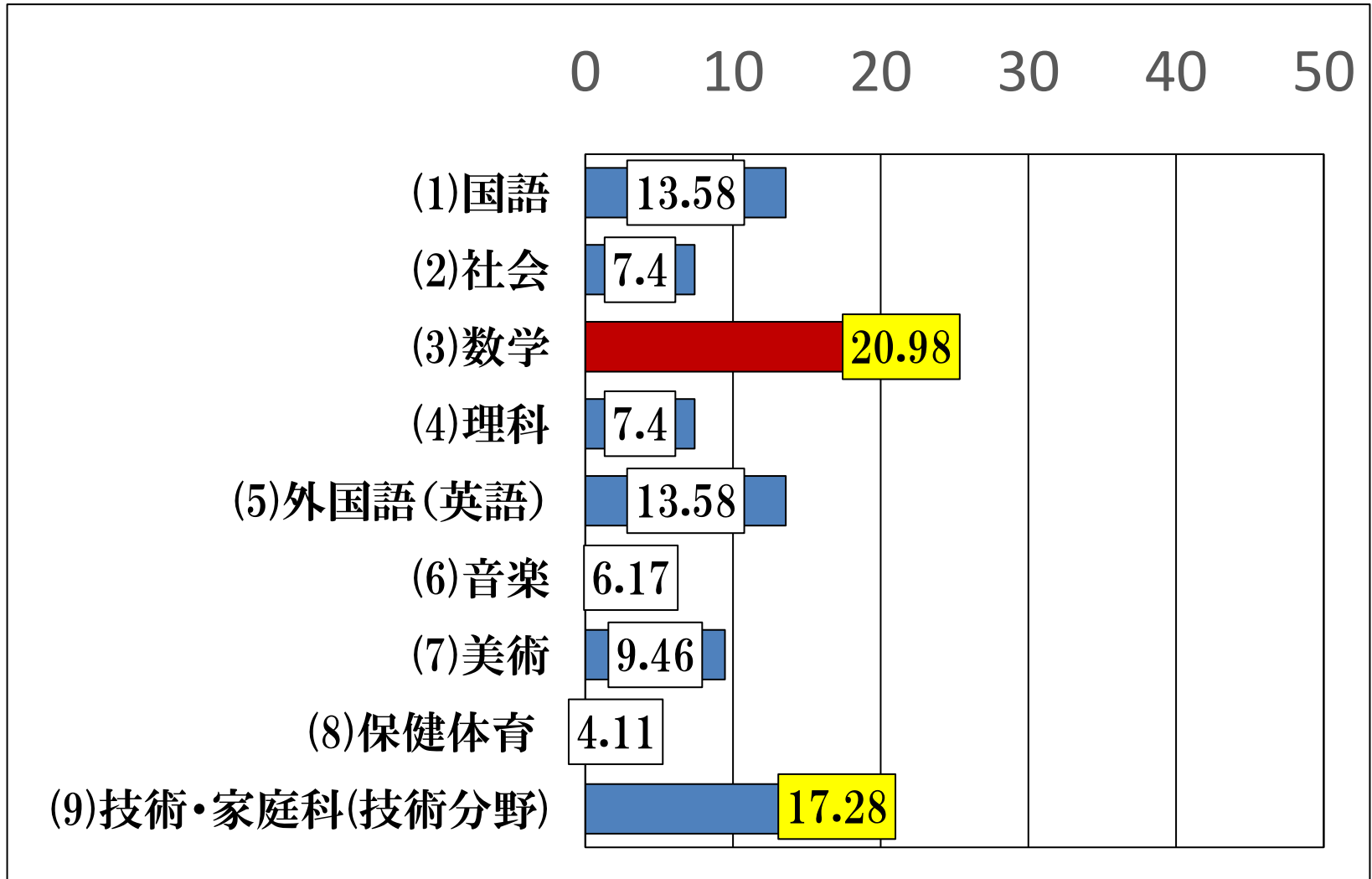


6 あなたは家庭分野以外に他の教科の授業を担当していますか。



■ (1)担当している ■ (2)担当していない

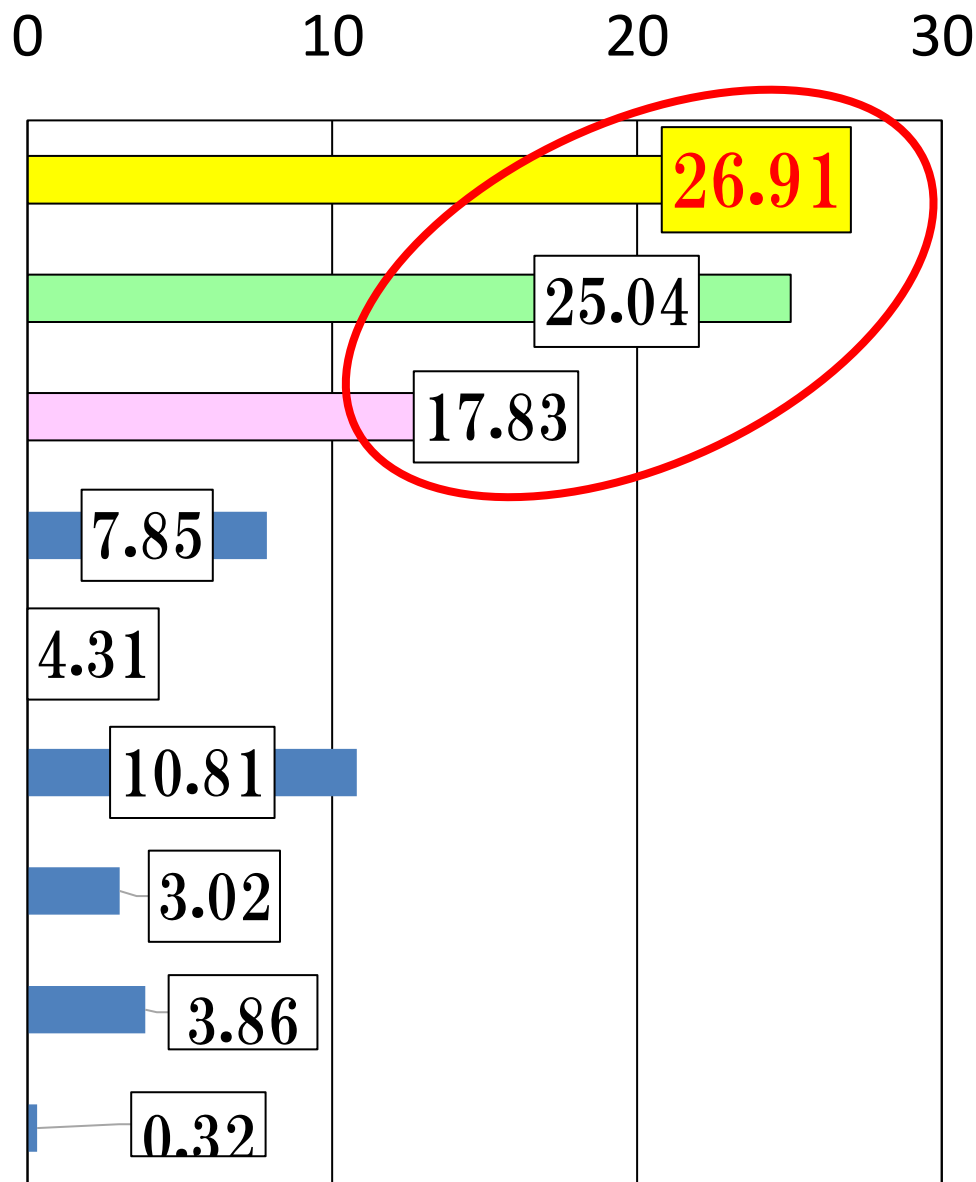
7 他の担当教科は次のどれですか。(他教科を担当している教員のみ回答)



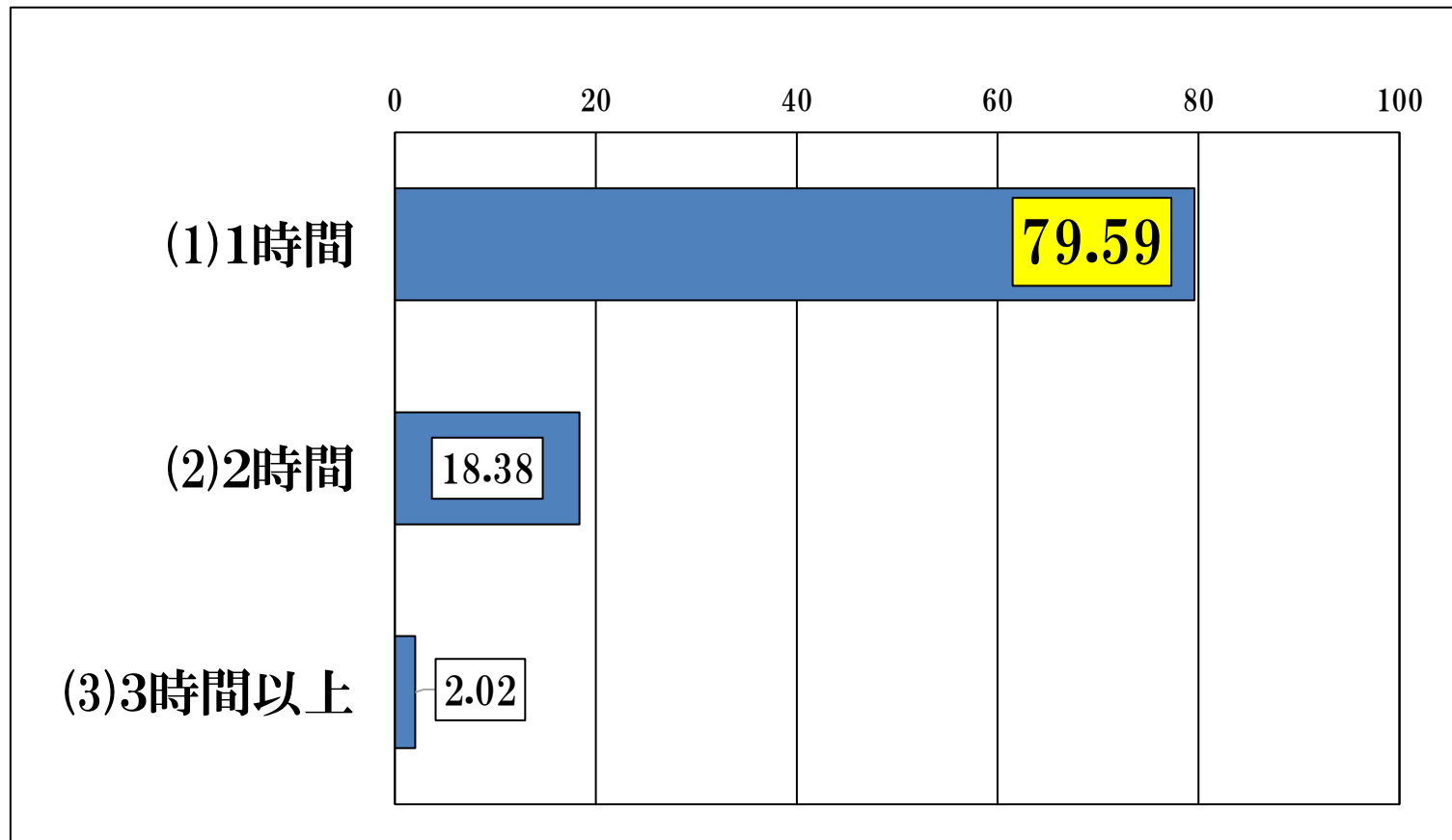
家庭分野

令和3年度の指導計画について

○令和3年度の指導計画を作成する上で特に重視する点をご回答ください。(3つまで)

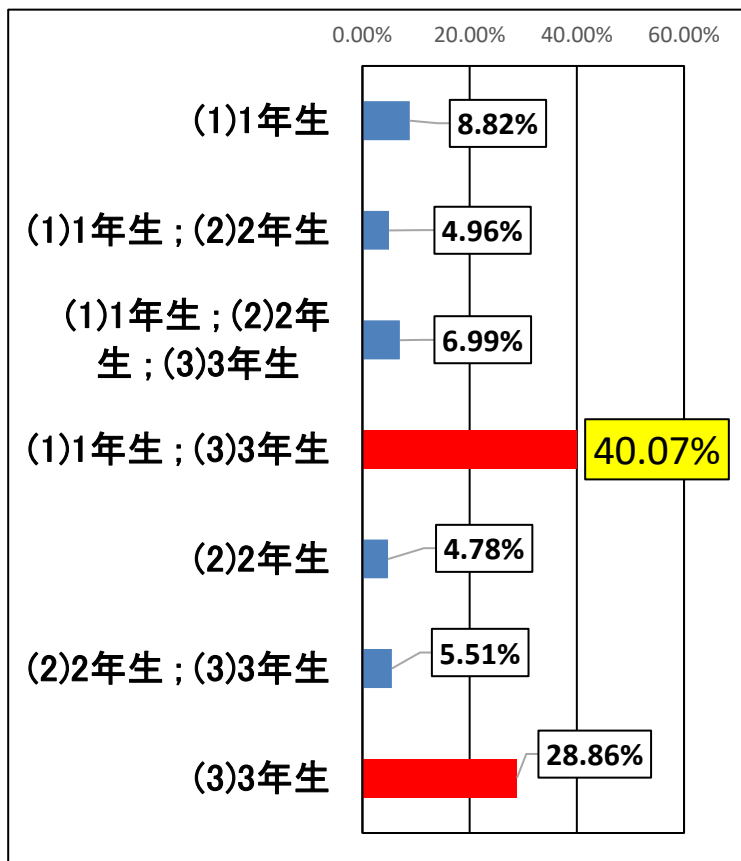


- 令和3年度の指導計画についておききします。
家庭分野の学習内容や、学習の進め方の見通しについての学習(ガイダンス)は、何時間で扱いますか。

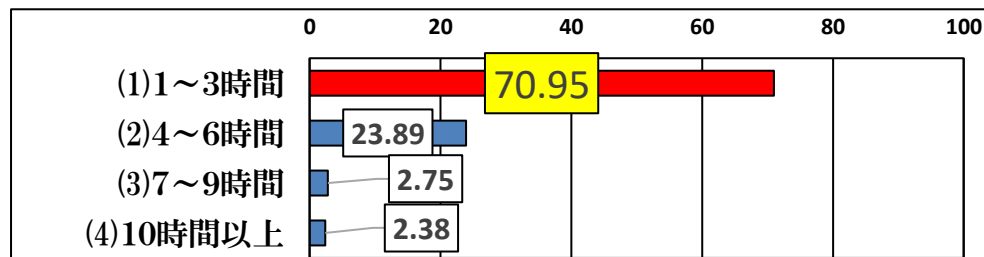


「A 家族・家庭生活」

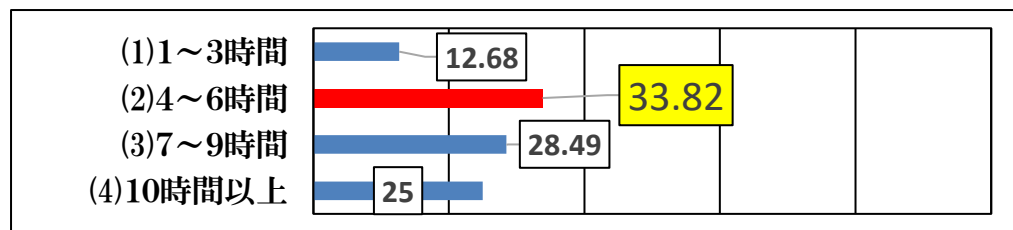
履修する学年をお答えください。



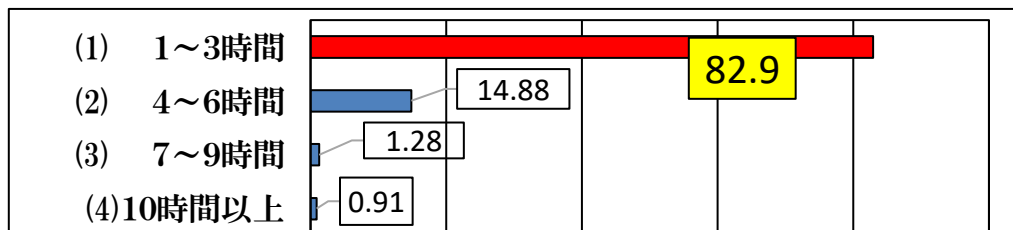
「(1)自分の成長と家族・家庭生活」は、何時間で扱いますか。



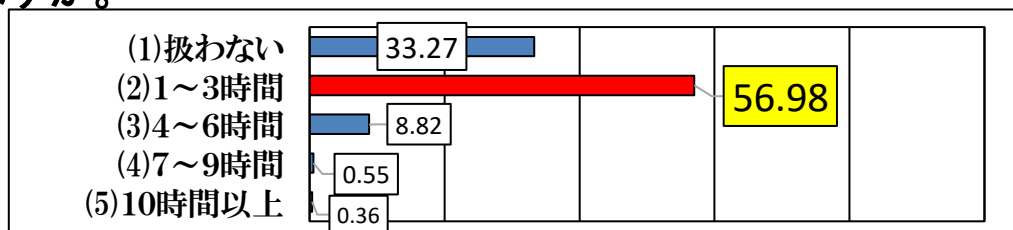
「(2)幼児の生活と家族」は、何時間で扱いますか。



「(3)家族・家庭や地域との関わり」は、何時間で扱いますか。



「(4)家族・家庭生活についての課題と実践」は、何時間で扱いますか。

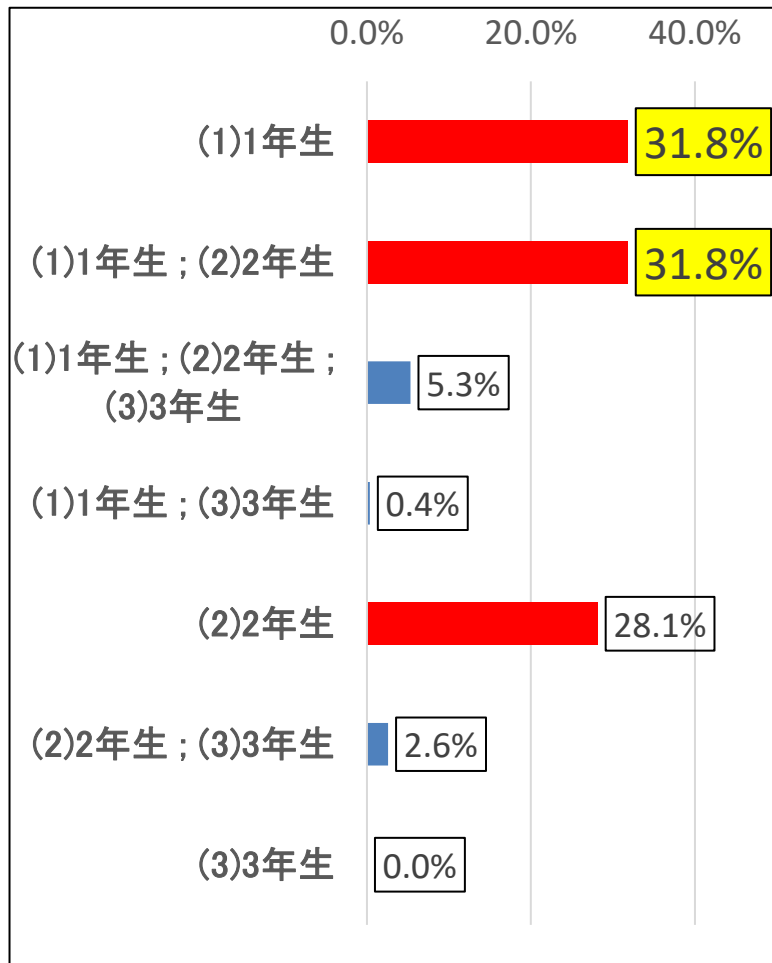


○「A 家族・家庭生活」で扱う課題解決に向けた実践活動の内容をお答えください。

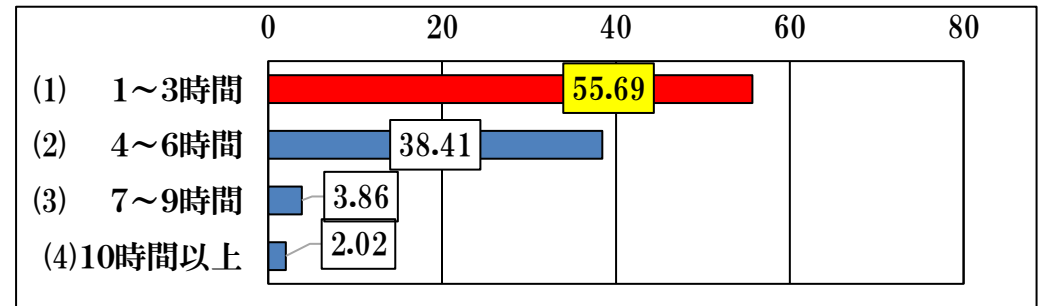
- ・高齢者との関わりを考えよう。（社会福祉協議会と連携し、車椅子や 白杖体験を通して高齢者との関わりについて、考え、理解する。）
- ・家族の会話を増やす家族ふれあい大作戦
- ・幼児の発達段階に合わせた関わり方や声のかけ方について学び、ロールプレイングで実践してみる。
- ・幼児の触れ合い方・関わり方についてのレポート（幼児の喜ぶおかし作りの計画・幼児の喜ぶおもちゃの計画）

「B衣食住の生活」 (食生活)

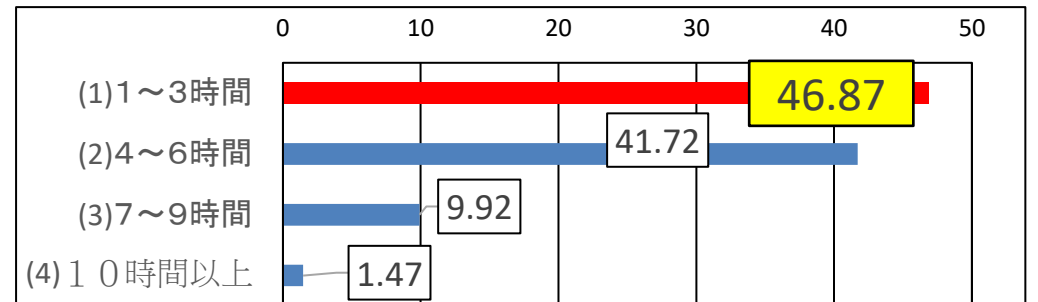
履修する学年をお答えください。



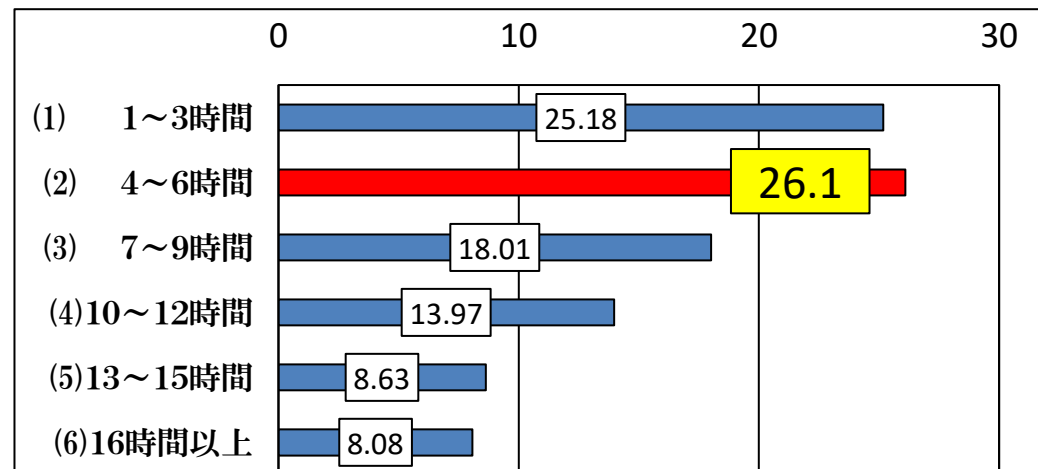
「(1)食事の役割と中学生の栄養の特徴」は、何時間で扱いますか。



「(2)中学生に必要な栄養を満たす食事」は、何時間で扱いますか。



「(3)日常食の調理と地域の食文化」は、何時間で扱いますか。

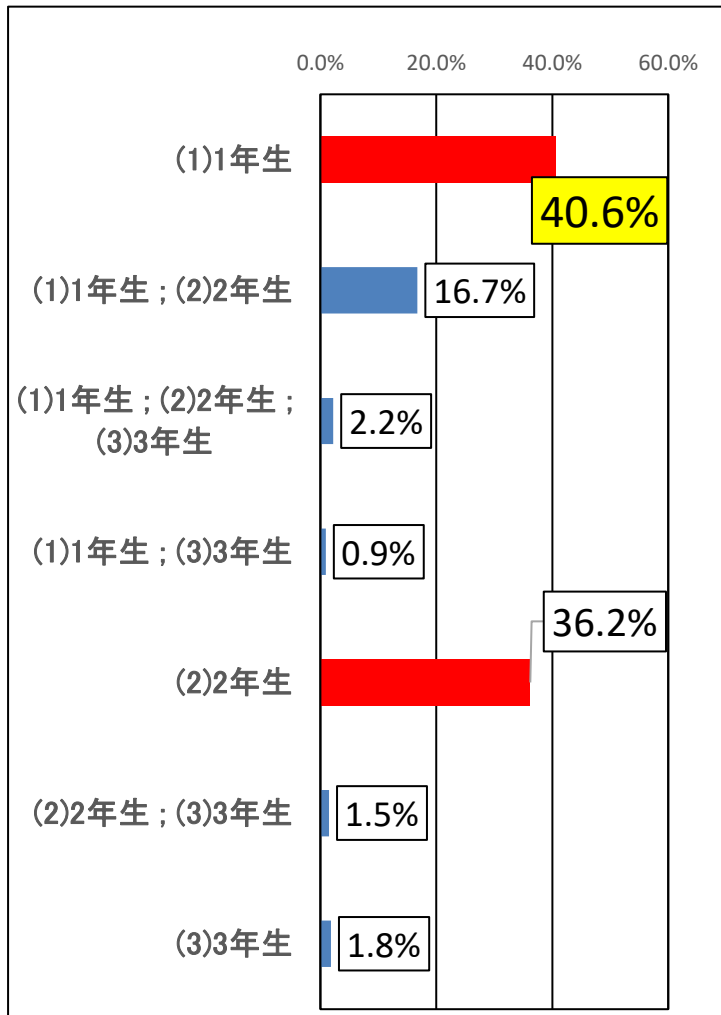


○「B衣食住の生活(食生活)」で扱う課題解決に向けた実践活動の内容をお答えください。

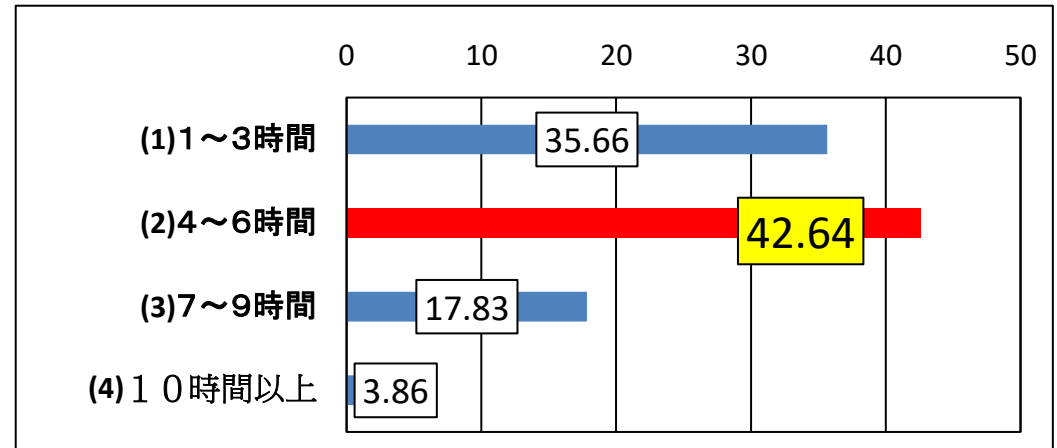
- ・調理実習 ・1日の献立の作成 ・自身の食生活の振り返り
- ・献立作成, 食品の選択と保存、魚・肉・野菜の調理、郷土料理の調理
- ・バランスの良い献立作り ・加工食品の表示調べ ・日常食の調理
- ・ふくおか弁当の日、「自分で作る弁当の日」の実践
- ・外部人材(専門家)の参画を得た授業実践(魚の調理等)

「B衣食住の生活」 (衣生活)

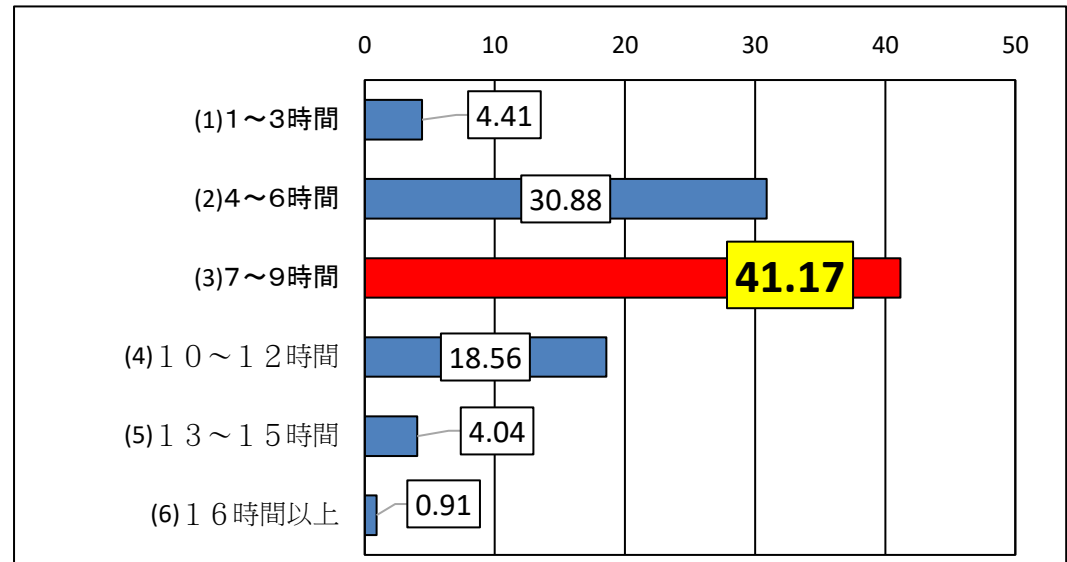
履修する学年をお答えください。



「(4)衣服の選択と手入れ」は、何時間で扱いますか。



「(5)生活を豊かにするための布を用いた製作」は、何時間で扱いますか。

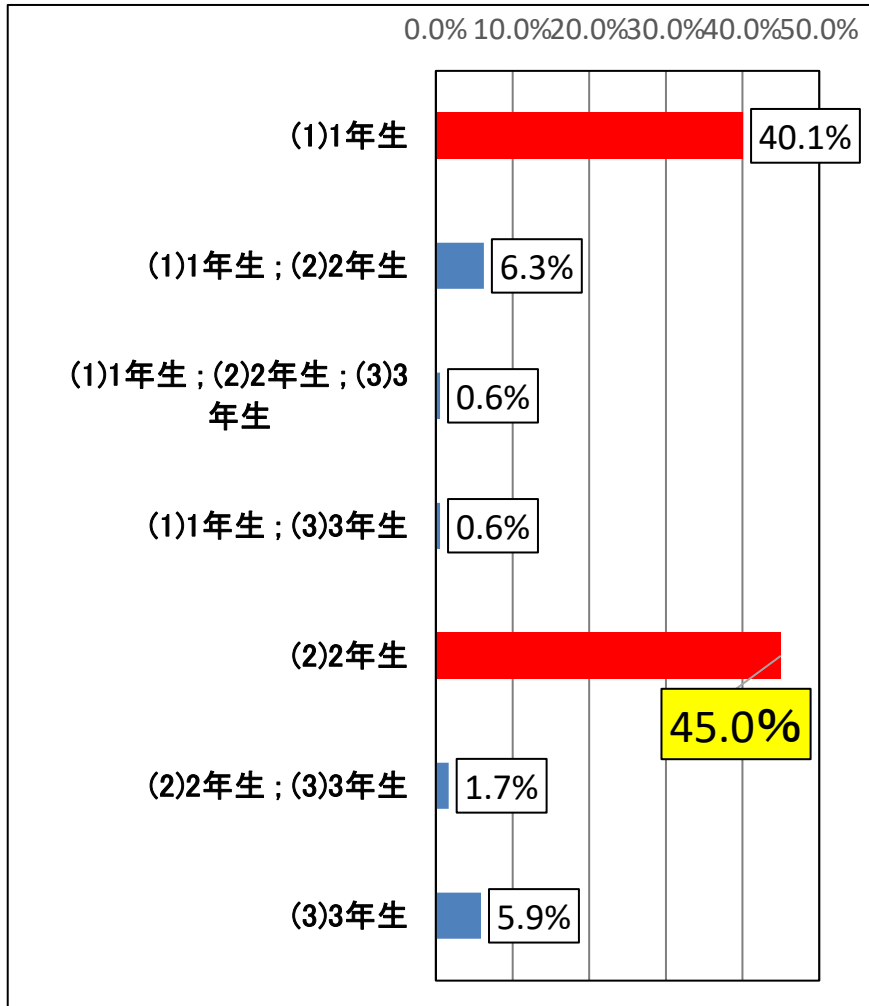


○「B衣食住の生活(衣生活)」で扱う課題解決に向けた実践活動の内容をお答えください。

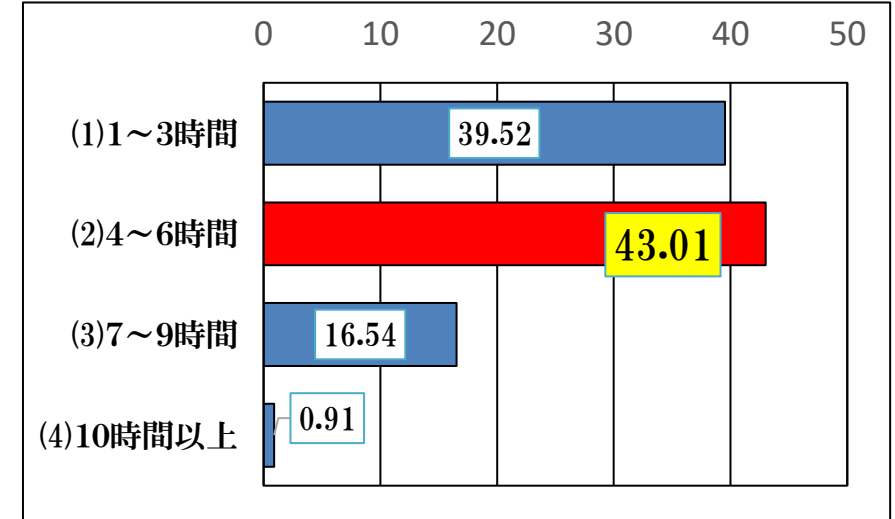
- ・衣服のコーディネートを考えよう。衣服の手入れをやってみよう。
- ・衣服の役割、働き、和服文化、民族衣装、和服の着方、TPOなど、衣服材料、手入れの方法、洗剤の洗浄作用などについて学習する。
- ・衣服を再利用した生活に役立つものを考える。
- ・製作したバッグを、自分自身の日常生活の中のどのような課題をどのように解決できるか、解決方法や活用場面を考える。
- ・誤った衣服の手入れ例を提示し、問題点を見付けて改善策を考える活動

「B衣食住の生活」 (住生活)

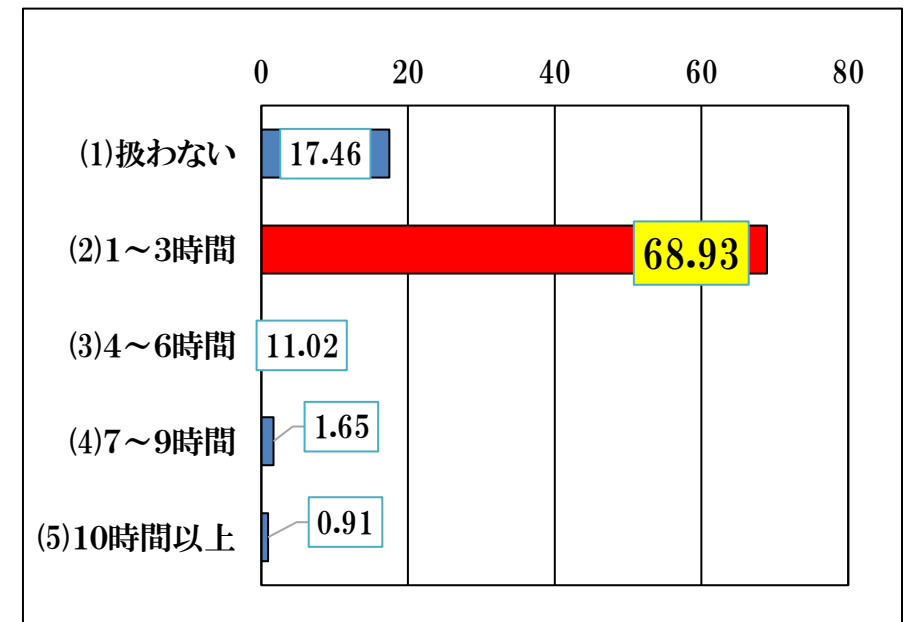
履修する学年をお答えください。



「(6)住居の機能と安全な住まい方」は、何時間で扱いますか。



「(7)衣食住の生活についての課題と実践」は、何時間で扱いますか。

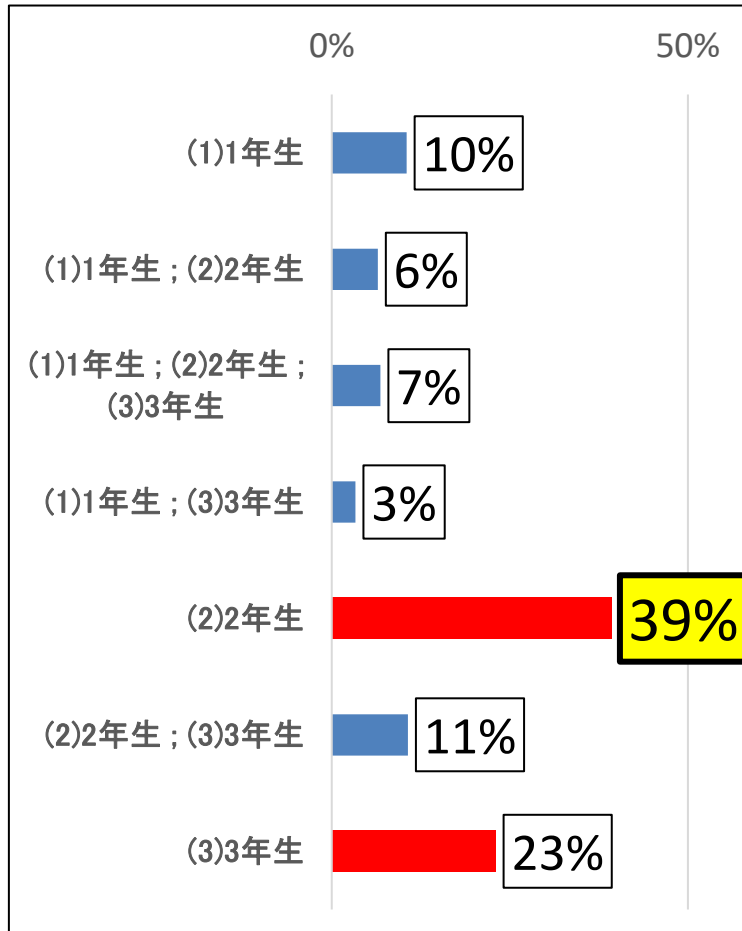


○「B衣食住の生活(住生活)」で扱う課題解決に向けた実践活動の内容をお答えください。

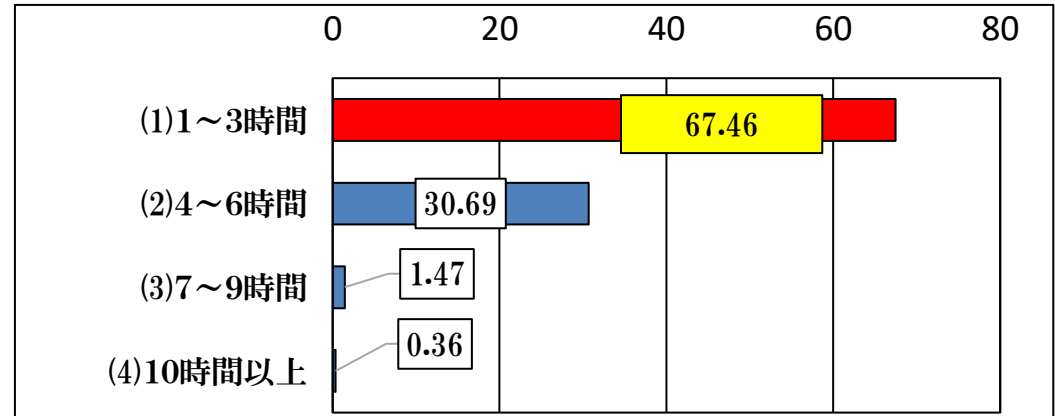
- ・地震を中心にした災害への対策について、身近なところの改善点や工夫を具体的に考え、実践する
- ・防災グッズを調べたり製作したりする実践
- ・災害や家庭内事故への対策を考えた室内環境の工夫
- ・一人暮らしシミュレーション(賃貸契約、家具配置など)
- ・間取りを作る、家の工夫を調べる、日本の住居の特徴

「C消費生活・環境」

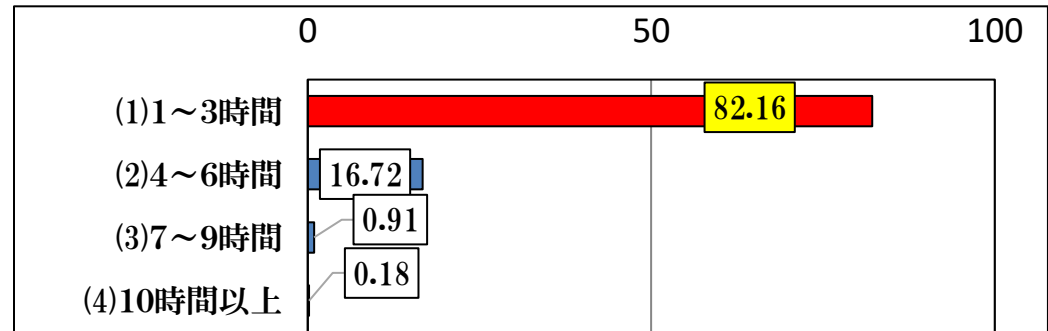
履修する学年をお答えください。



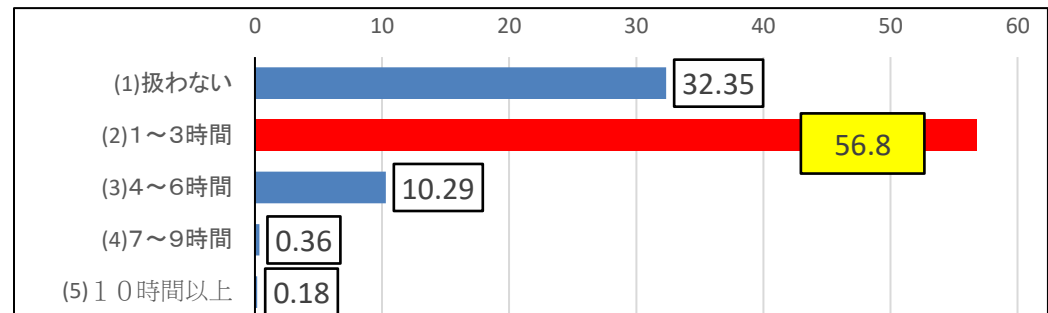
「(1)金銭の管理と購入」は、何時間で扱いますか。



「(2)消費者の権利と責任」は、何時間で扱いますか。



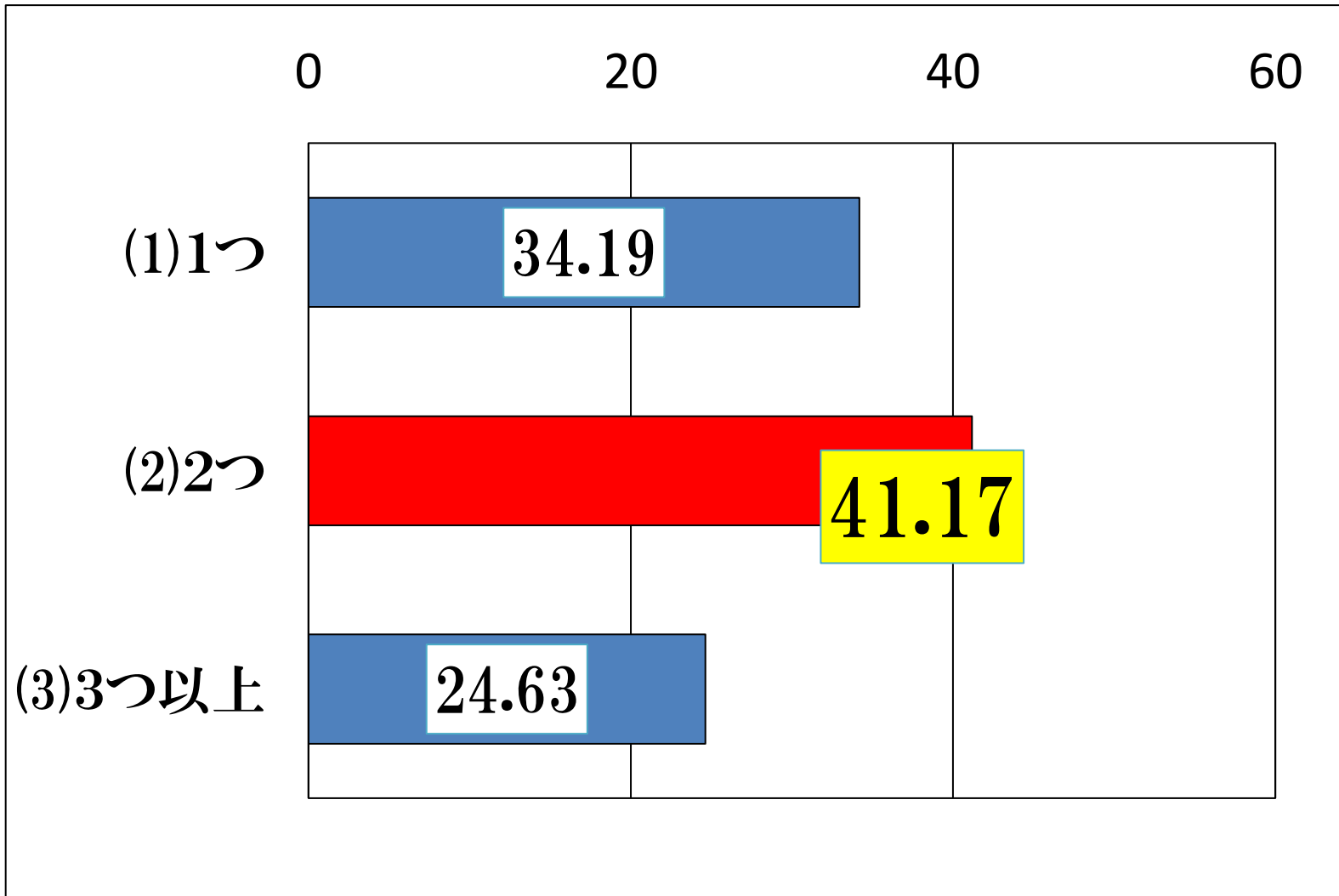
「(3)消費生活・環境についての課題と実践」は、何時間で扱いますか。



○「C消費生活・環境」で扱う課題解決に向けた実践活動の内容をお答えください。

- ・悪質商法についてのロールプレイング（消費者トラブルと悪質商法への対策）
- ・金融機関の方を招待して、時代に伴う支払い方法や金銭管理の講座
- ・省エネルギーやものの廃棄の工夫
- ・商品広告などを作り売る側、買う側での検討
- ・Tシャツを選ぶ活動を通して、消費者として責任をもって社会へ貢献できる方法を提案させる。（フェアトレード）
- ・身近な食品ロスを減らすためにパンフレットを作成させる。

○「生活の課題と実践」を3年間でどの程度扱っていますか。



○全面実施に対して、先生自身がお感じになっている問題・課題があれば自由にお書きください。

カリキュラムマネジメントの実現

の連携も、もっと密にしていきたい。

授業改善のための研修の機会

評価の観点も新しい観点になること、評価するときは先生だけでなく生徒による評価も必要

学習評価

ないといけいないので、課題の出し方も工夫が必要になる。

令和の年度は一人一人の観点も、調理実習が全学年で実施されること、これは学習内容

コロナ禍における実習・体験活動

コロナ禍での「幼児との触れ合い子育て」や「高齢者との関わり」をこのように進め

免許外で教科を教える不安

1人1台コンピュータ 環境について (技術分野の教員のみ)

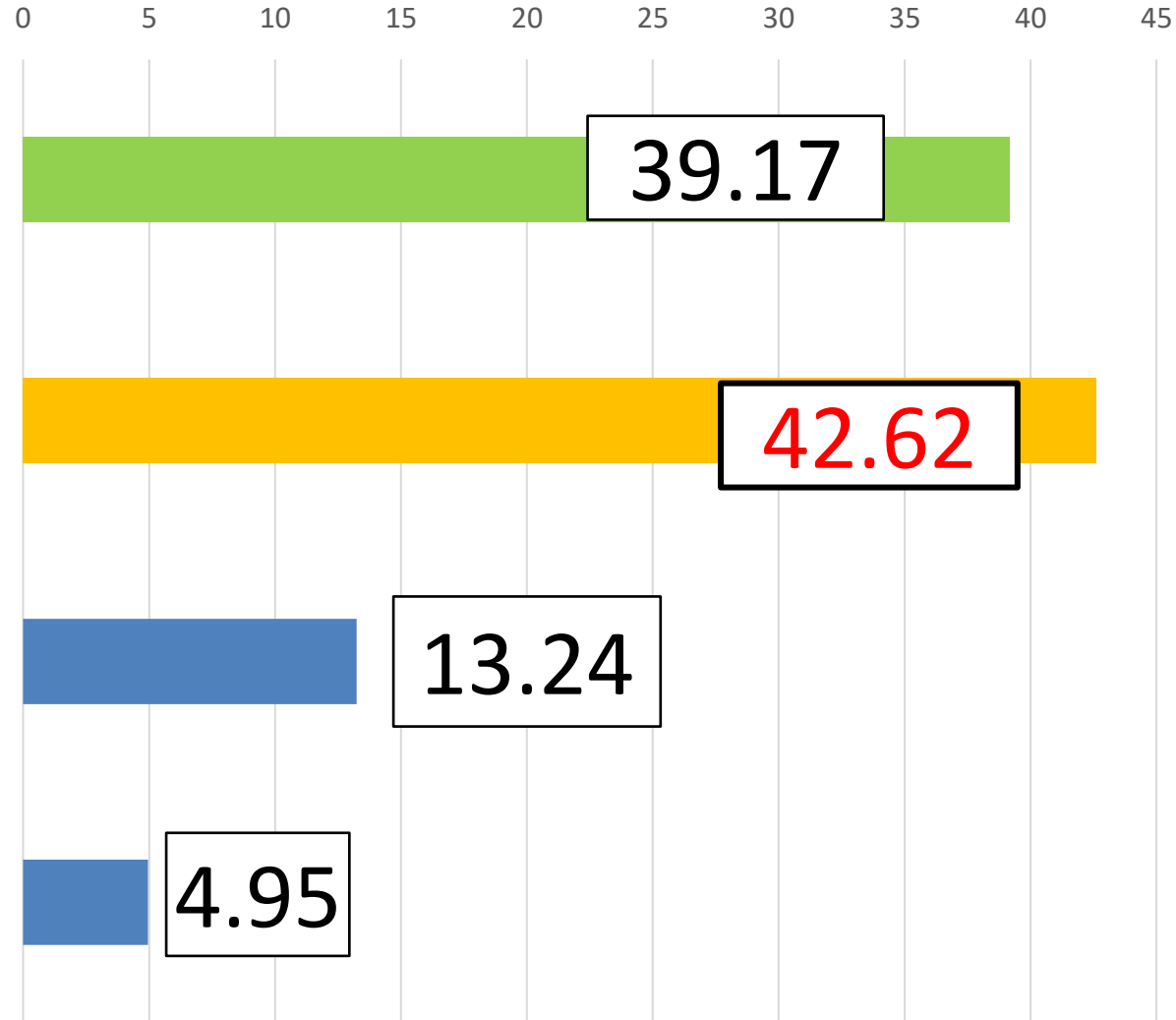
1 GIGAスクール構想が進み生徒の1人1台コンピュータの環境が進んでいます。貴校の1人1台コンピュータの稼働の進捗状況をおききします。

(1)令和3年3月以前に1人1台で稼働する環境になっている。

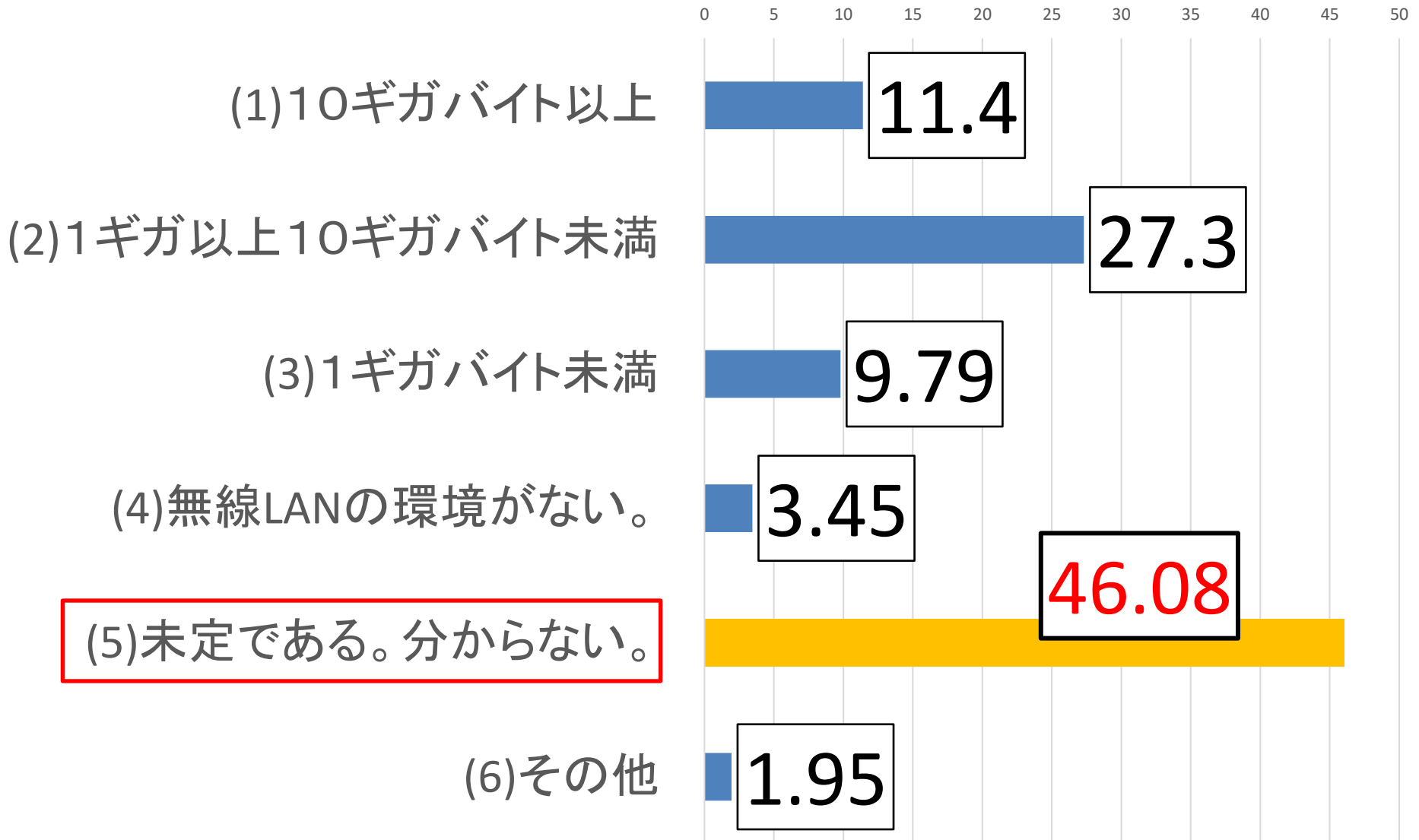
(2)令和3年4月より1人1台で稼働する環境になる。

(3)令和3年4月には間に合わないが、年度内に整備が進み、1人1台で稼働する環境になる。

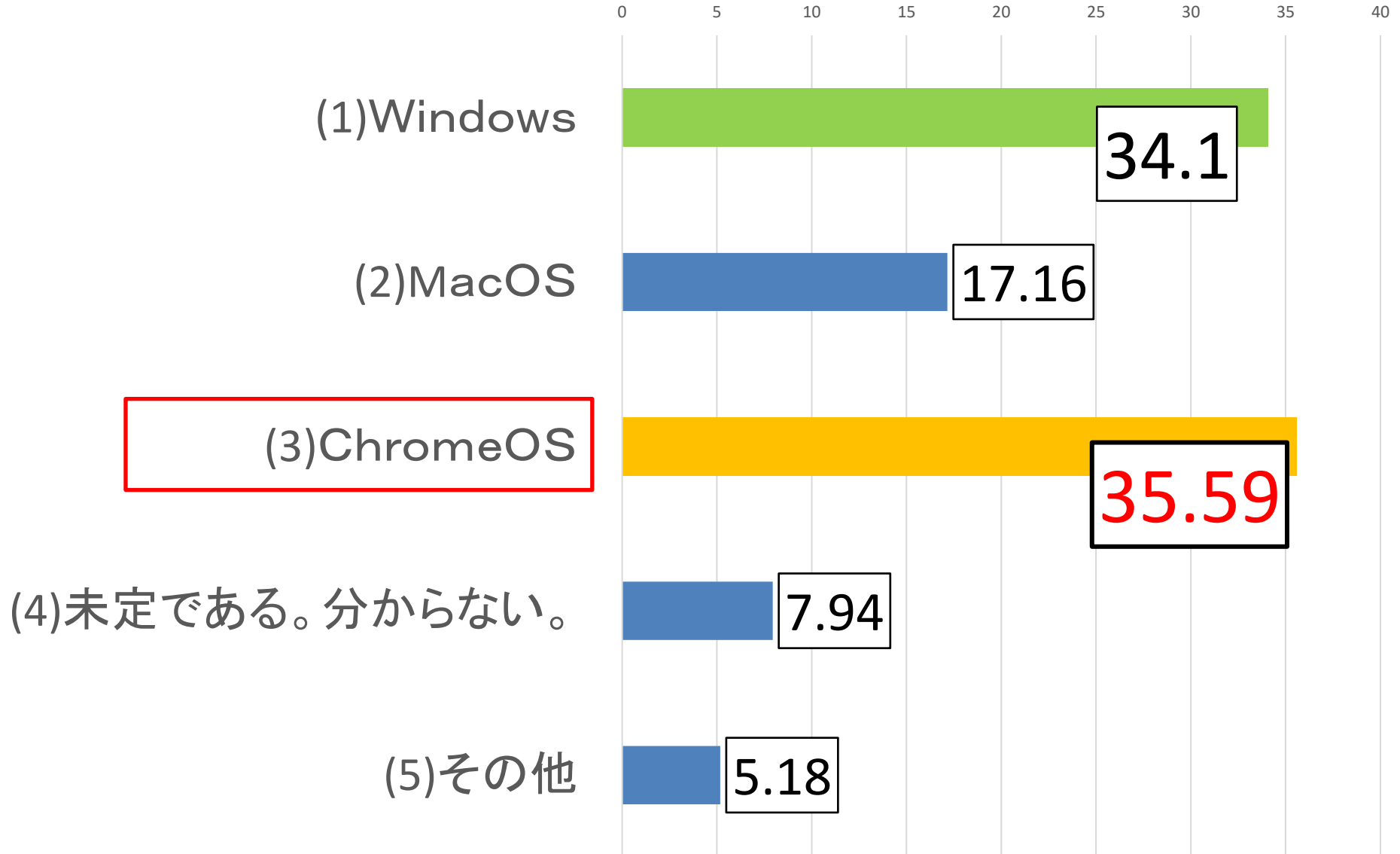
(4)未定である。分からない。



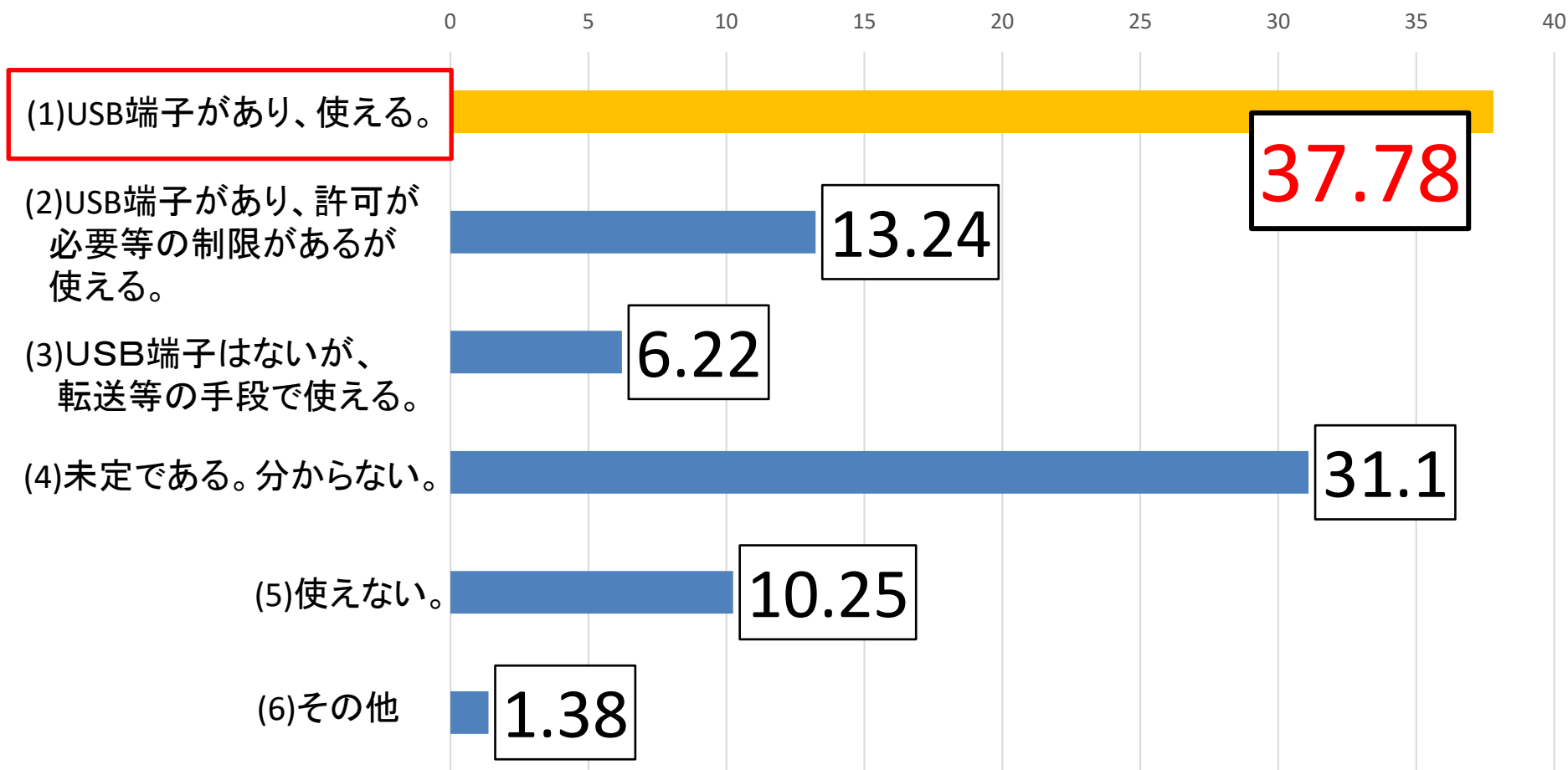
2 令和3年4月以降の貴校のネットワーク通信速度環境（無線LAN）についてお答えください。



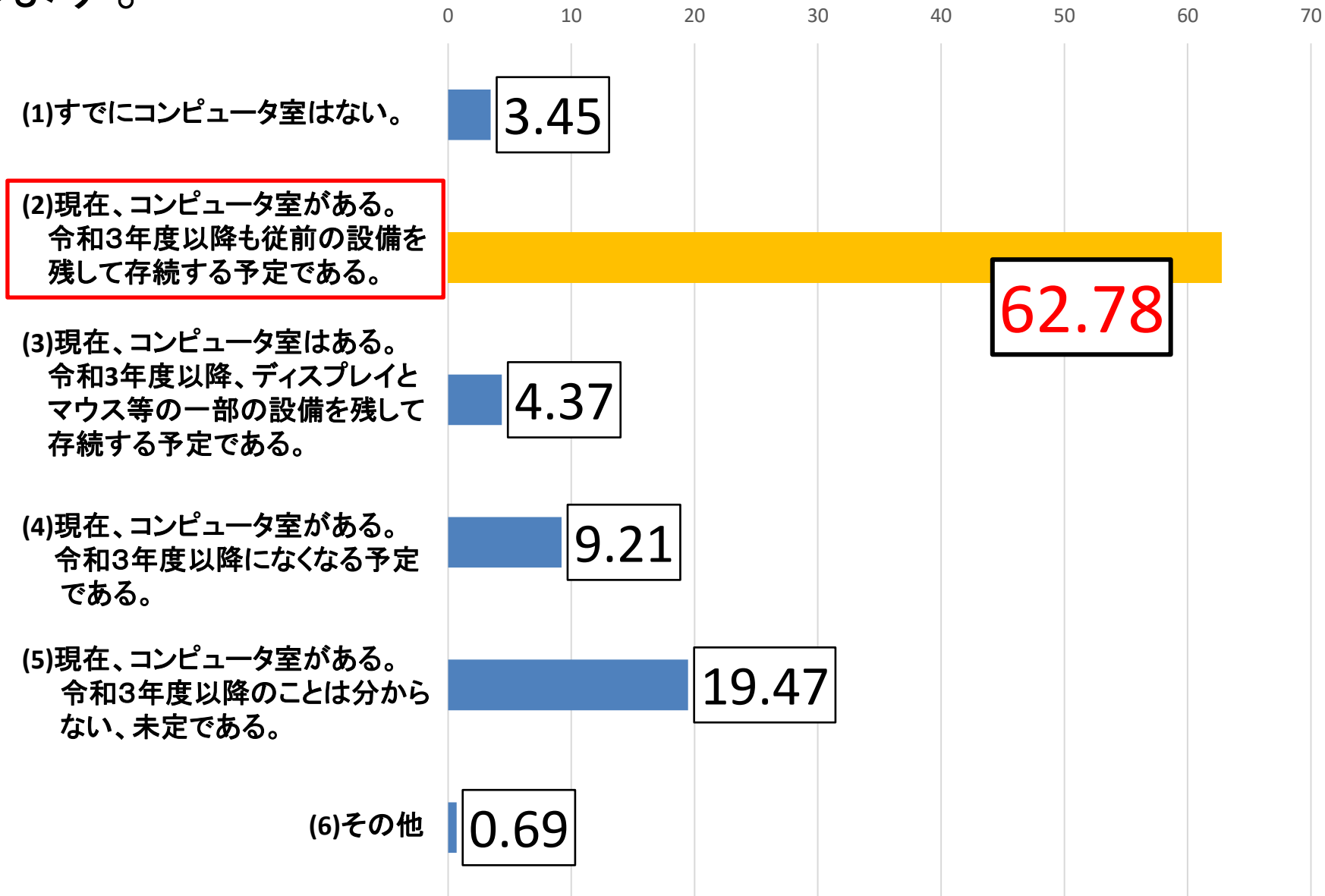
3 新たに導入された(される)1人1台コンピュータのOSは何ですか。



4 現在、技術分野D情報の技術「計測・制御のプログラミングによる問題の解決」などで使用する教材の中には、USB端子で接続するものがあります。そこで、新たに導入された(される)1人1台コンピュータのUSB端子についてはどのような状況になっていますか。



5 令和3年度以降の貴校のコンピュータ室の状況をおききします。



令和3年度の研究調査内容の予定

平成29年度 技術・家庭科 各学校（臨時免許等による）免許外指導 実態調査依頼

平素より研究会の活動、授業にご尽力いただきありがとうございます。
 さて、研究会では免許外指導の改善について文部科学省に要望をしており、今年度も具体的な数字に基づいて要望を行いたいと考えているところです。つきましては下記のように技術・家庭科の授業における（臨時免許等による）免許外指導の実態調査を実施いたします。お忙しいところ申し訳ございませんが調査へのご協力をよろしくお願いたします。結果を文部科学省への要望（免許外指導改善・指導力向上・専任教員配置）としてあげていきますので、県内各学校での正確な数の把握に努めていただくようお願いいたします。

記

1 都道府県名:

2 回答者 学校名 : (電話番号:)

職名・氏名:

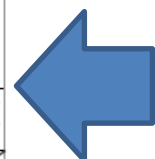
3 調査 * 各学校の状況を(技術分野、家庭分野別)にお答えください。

* 下の回答欄に、数値を入力してください。

(学校用調査用紙は、右側に入力し、下記に表示されます。)

	技術	家庭	1人で技、家の両方の免許を所持
質問① 技術分野、家庭分野の授業を行っている教員(講師等を含む)は何人ですか。 *1人の教員が技術と家庭両方の授業を行っている場合は、技術「1」、家庭「1」と記入。			
質問② 上記①の内、正規の技術、家庭科免許を所持している教員は何人ですか。 *1人の教員が正規の技術と家庭両方の免許を所持している場合は、技術「1」、家庭「1」と記入し、右端の欄にも「1」を記入する。			
質問③ 上記①の内、技術、家庭科の県の正規採用教員(市、県採用試験合格者)は何人ですか。 *1人の教員が技術と家庭、両方の免許を所持している場合は、どちらか一方に記入。			
質問④ 上記①の内、正規の技術、家庭科免許は所持していない(臨時免許等)が技術、家庭科の授業を担当している講師・臨時採用教員等(正規採用教員以外)は何人ですか。			

前回調査
平成29年度
の調査用紙



下の表に直接、入力ください。

県内の公立 中学校数	技術 分野					家庭 分野					1人で技、家の両方の免許を所持している教員
	① 授業担当者人数	② ①の内 技術免許所持人数	③ ②の内 技術の正規採用教員	④ 臨時免許の内、授業を担当している講師・臨時採用教員数(②が①の学校)	臨時免許を所持する教員がいない学校数(②が①の学校)	① 授業担当者人数	② ①の内 家庭免許所持人数	③ ②の内 家庭の正規採用教員	④ 臨時免許の内、授業を担当している講師・臨時採用教員数(②が①の学校)	家庭免許を所持する教員がいない学校数(②が①の学校)	

4 その他 *締め切り 平成29年10月15日

*回答は、メール でお願いたします。
 ・ファイル名に「県名」をいれてください。
 ・送付 用紙 合致 注意

中学校技術・家庭科に関する 第8回全国アンケート調査

ご清聴ありがとうございました



令和3年11月12日

第60回全日本中学校技術・家庭科研究大会東京大会

全日本中学校技術・家庭科研究会 研究調査部